

## 付属資料 1 自由記述の抜粋

## 自由記述の抜粋(困っていることや政策への期待)

※「非正規」に自営業、家族従業員等を含む。

## 1 保育

年齢	性別	仕事	世帯	自由記述
37	女	非正規	ふたり親	・保育園の時間が7～20時だと助かる。・中学校の完全給食・児童センターの時間延長～19時
33	女	無業	母子	日曜日預ってくれる保育園があれば、サービス業や福祉業など職業にとらわれずに仕事をしやすくなると思う。
34	女	非正規	ふたり親	ペップキッズなどの遊び場をもっと増やしてほしい。
33	女	非正規	ふたり親	生活のため、長い時間はたらいきたいが育児、家事、仕事のふたんが大きく、協力なしでは、むり…
46	女	非正規	ふたり親	子供の送迎が大変（仕事を早く切り上げないとならない）。居住地は民家が少ないので、防犯が不安。元気なお年寄りが学校や部活とかかわりをもって、地域とつながりを持ってもらいたい。
39	女	非正規	ふたり親	病児保育や、支援の金額が高い為利用にためらってしまう。支援が負担になっている。
28	女	非正規	ふたり親	・社内託児所が増えれば、子供が体調不良の時もすぐ対応が出来るし、待機児童の軽減にも繋がると思う（乳児のみでも）。・登園時間が早い保育園は人気があるため入りにくいので、全体的に登園時間を早めたら、保育園の選択肢も広がりありがたい。
42	女	正社員	ふたり親	・子どもが病気のとときに仕事を休めない。病時保育の充実、父親が育児参加しやすい制度、体制・夫が単身赴任しており、子どもに何かあるとすべて自分が対応しなくてはならない。子どものいる男性社員への配慮を企業には考えてほしい。
31	女	無業	ふたり親	頼りにならない配偶者。頼れる親族のいない子供を持つ親は本当に生きていくのが困難。そのような人でも安心して働ける環境、社会になれば良いと思う。今は頼れる人がいるため、何の不安もなく生活ができてからいいが、また以前のような環境下に置かれたら、もうどうしていいかわからない。
32	女	無業	ふたり親	保育所や幼稚園をふやしてほしい。一時保育を利用できる園をふやしてほしい。子どもの病気などで急に会社を休むことになっても負い目を感じる事がないようにしてほしい
42	女	無業	ふたり親	転勤が多くお互いの両親も遠方の為、子供小さいうちは仕事をする事が難しく、近くの保育園も定員がいっぱいだったりするので定員を増やしてほしい。

## 2 学童保育

年齢	性別	仕事	世帯	自由記述
45	女	非正規	ふたり親	預り保育、学童ができる施設の増。今、預ってもらっている学童は、満杯で、ぎりぎりまで預ってもらえるか分かりませんでした。保育代を安く。子育て支援として現金をばらまくよりも、安心して利用できる制度で子供を預けられる場を増やしてほしい。なぜ、2人目、3人目は無料となるのに、1人目はならないのか、1人目から低く設定してほしい。しょうがないのだと思いつつ、ほしくてできない親には、酷です。
37	女	無業	ふたり親	・私立幼稚園の保育料が高い・派遣で、扶養内で働ける求人が増えると良い・夏休み期間中の学童の開始時間が8時だと良い。お弁当毎日持参は大変なので、注文出来ると嬉しい。
42	女	非正規	母子	学童18:00まで?ありえない。19:00くらいまでにしてもらえないと働けない=生活できない。学童+ファミサポ等で支出がはんばない
47	女	非正規	ふたり親	小学生。夏休みの学童保育の人数に制限があること。子供は学童保育に行きたくないが(気のらない)親としては1人で長い時間の留守番は不安。兄たちがいるが部活や塾で不在することが多いのであてにならない
35	女	非正規	ふたり親	学童に入れないため、長時間勤務が難しい。学童以外に学童っぽいところがあれば良いと思う。

## 3 医療費・児童手当など

年齢	性別	仕事	世帯	自由記述
38	女	非正規	ふたり親	子供の予防接種等・病気の検診等の負担を軽くしてほしい。
46	女	非正規	母子	消費税増税に伴い非課税世帯に対して援助支援があっても良いと思う。所得制限をかけ、所得の低い世帯への児童手当を手厚くしてほしい。
41	女	非正規	ふたり親	・児童手当の拡充。高校卒業までの授業料無償化。・消費税増税はきびしい。
41	女	正社員	母子	(母子)ひとり親家庭で、支援がぎりぎり受けることのできない収入の家庭では生活保護の方が、良い生活をしているように思います。税金も医療費をフルで支払えば、手元に残すお金なんて微々たるものです。1日フルで働いてるのに、なんか不公平に思う！！
44	女	無業	ふたり親	都道府県により医療費助成期間の違い、図書館や児童施設の充実が、かなりちがっている(都会で人口(子供の数)が多いからといって、必ずしも充実していない)。子育て中に転勤の経験がある為、これらのことがわかった。全国の格差をなくしてほしいです！

## 4 児童扶養手当

年齢	性別	仕事	世帯	自由記述
33	女	非正規	母子	今年の4月に、離婚したばかりですが、貯金もあまりなく、とても不安でした。それでも、離婚することは、私と子どもにとって1番、最良の道だったので悔いはないです。児童扶養手当はすぐにもらうことができないことと、1年以上たたないと、私の扶養親族として、子どもたちが判断されず、未だに扶養(0人)のままなので、実際に受けとる金額は少ないです。子どもたちには勝手な行動だったのかも…と考えさせられます。お金のことを考えると苦しいですが、シングルマザーとして、もう少し国からの援助があると助かります。家賃を少し出していただけるとか、市や町で、無料の塾などがあると助かります。仕事を終え、帰宅してから、子どもとの時間があまりない上に、宿題チェックや次の日の準備にとても忙しいです。市には遊ぶところもあまりなく、休みの日もつまらないです。子どもや親が自然と集まることのできる場がほしいです。
47	女	非正規	母子	離婚したくても、相手が承諾しないため離婚できなく児童扶養手当の手続きができない。また、子供が大きくなる程出費が大きいの、手当等を高卒までしてもらおうと助かります。
44	女	非正規	母子	仕事で努力して給料が上がると毎年児童扶養手当が減らされる。給料が上がったり、残業をがんばっているのに、手当が減るのは残念だ。けして高い給料をもらっているわけでもない。児童扶養手当での2人目以降が安すぎると思う。1人増え、プラス5000円で生活出来るわけがない。
46	女	正社員	母子	ひとり親世帯になって朝から遅くまで働いているのに、支援を受けるための手続きで時間、お金をとられてしまう。離婚後の児童扶養手当の手続きも大変でした。休憩時間を使って昼食とれずの時もありました
49	女	非正規	母子	児童扶養手当での子供の人数分ほしい。(例)1人30000円、2人60000円ほしい。(現在)1人30000→2人35000、差5千円。20才まで母子父子の手当てほしい。
44	女	非正規	母子	転職するので収入が増えるので児童扶養手当が減るので不安。
34	女	非正規	母子	児童扶養手当を、収入の少ない人にはもっと増やしてほしいです。体調が悪く、働けないこともあるので、手当などで補えたらいいと思います。
35	女	非正規	母子	ひとり親家庭です。児童扶養手当についてです。親と同居していますが、世帯は別です。なのに親の収入(所得)をみて計算される為、もらえません。市町村でどうか良い方向に検討して頂けたらと思います。実際、多く声が上がっているのが事実です

## 5 ひとり親の悩み

年齢	性別	仕事	世帯	自由記述
40	女	正社員	母子	・自治体によって子供や母子家庭への支援が異なるため、わかりにくい
36	女	正社員	母子	・母子家庭に対する就業時間の配慮(遅番勤務なし e t c…)・臨時職員だとしても、扶養手当あり、家賃の一部負担 e t c…。・将来的に金銭的で子育てしていけるかという不安
49	女	非正規	母子	ひとり親世帯です。非正規でずっと安定していなく、収入も少ないです。子供の進学で私立高校にしかいかず、奨学金を借りていましたが、それでも足りず借金が増えました。下の子は公立にいかせたいと思いますが、学校の他に塾などにかよわせるお金がなく公立にいけるか心配です。母子家庭の貧困は本当に深刻です。一生懸命に仕事と家事をして、子供と話すひまもなく子供と遊ぶ時間もお金もない。教育や子供にかかるお金は無料になるようにしてほしい。
48	女	非正規	母子	母子家庭でアルバイトなのでいくら働いてもお金が足りない。具合を悪くしていても休むと給料が減るため休めない。AM1:00~PM4:00まで休みなく働いて家事や子供と話す時間ももてない。困っていることです。
45	女	非正規	母子	・長男の反抗期が続いて、どうすればいいか分からない。・母子家庭なので、今後、病気をしたりけがで働けなくなったときの生活や、進学。・父親との面会のむずかしさ。・父親が自宅に来ないか、心配。養育費もこれからもきちんと払ってもらえるか。
43	女	非正規	母子	・仕事がおそくなり、子供との時間が少なくなり両立がむずかしい。・子を持つ家庭に対して考慮してくれる会社が少ないと思う。・母子家庭でも、子供を優先する事ができて、時間も考慮してくれてなどと理解ある会社が増えてくれれば、多くの人が働きやすいのではと思っています！
43	女	非正規	母子	家賃やガス代…母子家庭に割引をしてほしい。母子家庭だけのアパートを多くたててくれれば安心だし、交流できていいと思う。
40	女	無業	母子	母子家庭のため、収入が不安定である。現在資格取得のため、学校に通っているが、給付金を使っても日々の暮らしが難しい。ほとんど実親の援助で成り立っているため、目的を持って資格取得をしている人には給付金の額を上げてほしい
43	女	無業	母子	・幼児ばかりでなくいちばんお金が必要となる高校卒業時に向けての支援を強く願う。お金がないからあきらめることばかり。母子、父子家庭に手厚くしてもらいたい。1日1日の食費でも困っている、ような生活。どんなにがんばっても、1人で育てている人、両親もいない人は子供の進学や学費は、とても、たりのものではない。大学、専門学校の費用がたかすぎる。
30	女	非正規	母子	母子家庭に対する支援制度は色々あるが、今現在経済的支援はほぼ受けられない(働いているため)。働いている方が損しているような気がする。休暇にしても、母子家庭で子供2人分の行事や病気に対応していると全く足りないのでは、改善すべきだと思う。
45	男	非正規	父子	シングルファザーに厳しい。圧倒的にシングルマザーが多く、シングルファザーに焦点はあたらない。行政の支援はほとんどなく、相談しても何もない。私の場合、夜勤時の子供の看護に苦慮しており、知人の協力が得られない時は、子どもたち(5才、10才)だけで自宅において寝泊まりしている。調停証書には別居する旨明記されているが、籍が残っており、収入もあることから、公的な支援は何もありません。周囲の友人だけが頼りです。ちなみに母は亡くなっており、父は子育てできず、拒否しています。どうしてもない時は子ども2人だけ新幹線に乗せて大阪のおばに預けています。
50	女	非正規	母子	母子家庭は家計が苦しく国の方から中学までは援助があるが、高校行っても、お金がかかるので高校卒業ぐらいまでは援助があると助かりまか。家計が苦しく塾にも行かせられない。これから高校受験なのにどうしようか、困っています
49	女	非正規	母子	過去に、母子家庭で子供が喘息発作や先生との関係で不登校の時期がありました。仕事を休みがちになり生活費が大変でした。子供が勉強に集中出来る部屋の確保が出来ない。母子世帯の住宅問題…。県営市営の募集も少ない。民間マンションを借りてるがその場合住宅手当の様な物があると助かります。
37	男	非正規	父子	父子家庭に対する支援、サービスをしてほしい。経済的にも、支援を受ける年収よりギリギリあるために受けられない。経済的な支援があったらよいと思う。父子家庭でも働きやすくしてほしい。残業などがある為
35	女	非正規	母子	8年前から母子家庭です。その当時手当がありませんでした。自立に向けて懸命に働いてきました。が、所得が上がるにつれ差し引かれる税金は多くなり、手当もなくなってしまいます(良い事ではあります)。所得が上がると、働く時間がふえ、家事や育事に手が回りません。保健室から呼ばれてもすぐに行けない時もあります。子供の送迎や家事代行を気軽に利用したいです。そのようなサービスがあれば良いな～と思っています。

## 6 障害児を持つ親の悩み

年齢	性別	仕事	世帯	自由記述
35	女	非正規	ふたり親	幼児期に発達遅延の子が伸ばすことができる施設や定期的な催しへの支援を拡充してほしい。幼児期に適切に指導や訓練をしたら、健常児になれるのに支援の施設がないから。
39	女	正社員	ふたり親	高校生の子供が知的障害にて、支援学校へ通っている。卒業後の就職が不安。障害者が働ける就職先を増やしてほしい。
42	女	正社員	ふたり親	ADHDやアスペルガーなど発達障害の子どもについての理解、対応、支援の仕方を、多くの人たちに伝えるセミナーや講演会の開催。
32	女	無業	ふたり親	・子供が遊べる場所を提供して欲しい（公園や児童館など）。遊ぶ場所がなさすぎて、人の家やゲーセンとかで集まって過ごすことになる。・発達障害などの子供に対する療育制度をもっと充実させて欲しい。周りの人は相談しても他人事に過ぎないので、納得できる答えをもらえなかったり、人手不足で市の制度を使えず、結局、片道車で30分くらいの病院までリハビリすることになって困っている。また費用も実費だし、負担がかかる。
41	女	無業	ふたり親	・子供に障害があるため、自分たちが世話をできなくなった時、誰かに面倒をみてもらいながら幸せに人生を全うできるのか心配です。障害者の就労、福祉サービスの充実などを期待しています。・今、子供が小学1年生なので、今後PTA役員等が回ってくることを考えると、自分の体力面も考慮し、求職する気持ちになれません（幼稚園のPTAがあまりにも大変だったので）。PTAの負担軽減を望みます。
36	女	正社員	母子	子どもが成長したらフルタイム勤務を希望していますが、子どもが身体障がいと知的障がいを持っているため、預かってもらえる場所が無く、短時間勤務しかできない現状である事に困っています。
38	女	無業	ふたり親	小学校の一人息子が、現在、不登校中です（発達障害、二次障害を発症）。今、住んでいる地域には、「フリースクール」というのがありません。フリースクールがある場所を探そうとしても、結局は中学生からだったり、場所によっては遠かったりしてしまいます。「適応指導教室」しかないのですが、中学生が多く、行きたがりません。なので、現在、新築に、中古マンション、アパートなどの広告を利用し、掲さいされていますが、そうではなく、一室を利用してもよいので、理由あって学校に行けない子供達を対象にしたフリースクール教室を増設してほしい、と思っています。空き家を利用してよい、と思います

## 7 教育・学費

年齢	性別	仕事	世帯	自由記述
43	女	正社員	母子	・義務教育を終え、金銭的に高額がかかってくる教育費があるのに、行政からの手当て支給がなくなってしまった事。私自身、年齢もあがり、体力に衰えを感じながらも、仕事をセーブもできず、更に働かなければならない現実がある。
51	女	無業	母子	来年から幼児教育・保育無償化が実施されるのは有難いが、学費は年齢と共に上がっていく。経済格差がそのまま学力格差につながるのは仕方無いのかもしれないが、それだと未来に希望が持てないので、進学や就職の機会を増やす支援を期待します。
43	女	非正規	母子	子供が去年11月から不登校になりました。今年夏に発達障害と診断され、本人は誰とも会いたくなく、ほとんどを家の中で過ごしています。担任の先生はとても協力的ですが、本人が外に行きたくなく、私も働いている為、勉強もほとんど見てあげられず、市内の放課後デイなども見学に行きましたが、自分の子に合う所がなく時間だけが過ぎてしまい不安があります。勉強は自分(親)が何とか見るしかないのでしょうか？
51	女	非正規	ふたり親	・子供の進学にかかる費用の心配。又、子供が奨学金を借りた場合の長期に係る返済の心配。・親が、教育ローンを借りることが、出来るのか、心配。・仕事の賃金が上がらず、ボーナスもない状態で、物価が上がり、生活ができなくなるのではないかと不安に毎日、悩まされている。学費が、安くなってほしい。
38	女	非正規	ふたり親	幼、小、中、高での完全給食。給食費の公費負担。幼、小、中学生の医療費無料化
53	女	正社員	ふたり親	子供(大学)の大学授業料がかかる時に、親の介護費用が重なる場合、どちらを優先しなければいけないのか、金銭的に悩む。公的な安く入れる老人ホームを作ってほしい。
44	女	正社員	母子	給付型奨学金。やる気のある子の努力が、親の経済力により報われないのはつらい。
45	女	非正規	母子	親の収入が悪いと勉強が出来ないと言われる事。塾ありきの学校の体制。負の連鎖を立ち切り、子供に明るい未来と希望を持って生きて行ける社会になって欲しい。現実には厳しい
46	女	非正規	ふたり親	不登校の子供がいる家庭の支援(相談する場所)など
41	女	非正規	母子	今まで1人で3人の子育てをしながら仕事もがんばってこれましたが、去年検診で子宮がんの手前の病状が見つかり手術を受け、仕事も1週間休むことができました。これから高校、大学とお金のかかる時期でもあり、病気などで働けなかった時の大学までの支援など国や県からの補助があると安心できると思います。国からお金を借りて大学に行くのではなく、安心して大学まで行き、ちゃんとした仕事に就いてほしいと考えています。
49	女	非正規	母子	不登校でひきこもりの子供に対応してほしいです。うちの16才の子供4月から、ほぼ家からでてないです。子供に心のひらきを、国に力をかけてほしいです。
49	女	非正規	ふたり親	我が家は高年齢出産の為、現在は収入もあり子どもの費用も大丈夫ですが、将来的にはかなり不安です。子どもが高・大学の頃には収入がありませんのでかなり苦しいです。出生数を増やすために手当て増や保育料の無償などがされてきていますが、子どもの全過程において支援をしていって欲しいと思います。そうでないと、なかなか子どもを持つ勇気(?)がもてないですし、能力のある子にチャンスを与えられていないと思います(大学進学や、他、技術を身につけるなど)。子ども達が、働いてくれてこそ、国の未来もあると思うので、その投資はすべきかと思っています。
50	女	非正規	ふたり親	子供が不登校になった場合のサポート支援の強化。これからの時代、食物やさまざまな影響により、発達障害児や不登校児が増えていく可能性がある。母親の負担が少しでも軽くなれば親子とも安心して過ごせる社会になるのではないだろうか。
47	女	正社員	ふたり親	正社員の割には給与が安く、責任が重すぎると感じる。高校、大学進学と子供にお金がかかるので援助、もしくは、学費の無償化を進めてほしい。又、地方に企業が少ないため、労働人口が都市部へ流れていってしまい、地方はますます高齢化となり活気がなくなる。地方へ大学や企業を誘致し、都市と地方の差がなくなってほしいと思います。
40	女	非正規	母子	数字の上では児童扶養手当を受けていなくても実際は生活は厳しい状態。何とか習い事は通わせられても学習塾となると子供の人数分は難しい。今後の学習の格差が怖い。親がみてあげられるのには限界があります。住んでいる生活圏内に学習支援していただける場所を作っていただくか、助成をしていただけることを期待します
42	女	非正規	母子	フルタイムで仕事をしている為、子供の学校の担当と連絡を取る時間が、17:00以降になってしまうのだが、明らかに、嫌そうな態度を取られるので、大変気を使う。時間外でも、遠慮なく、話が出来る様な環境作りもして欲しい。
49	女	非正規	母子	・自立して収入を得る為のスキル(資格にとらわれずコミュニケーション能力、管理能力)向上支援。・学費の支援。・投資の必要性、知識習得の講座☆父親の養育費支払いに対する強制力、又は、行政による立替支払、請求。支払率が低すぎる。調停離婚し取決めたが1回も支払われない。弁護士を利用するにも費用が高すぎて手がたず泣き寝入りになっている。取り立ててほしい。会社員ではない為差押さえもできない。
51	女	無回答	母子	離婚後、子供を就学させるため一生懸命、働いてはいるが、高校卒業後、大学進学を希望しているため、又そこで、就学の援助(奨学金)等を受けないと就学は困難である。自身もダブルワークで生活を行っているが、年々体がついていかず、無理をしている状態。自身が元気な老後をむかえることができるのか、又、今受けている援助の返済も有、いつまで働くことになるのか不安である。乳、幼児期の国や市の援助も助かるが、子供の成長と共に高額のお金がかかりすぎる(学費←本当に考えてほしい!!)子供自身も、学業と共にバイトはやむを得ない状況である

## 8 企業の育児支援制度

年齢	性別	仕事	世帯	自由記述
27	女	非正規	ふたり親	前職をやめた理由が、子供を3歳まで見たい・周りに頼り人がいない為でした。やめずに、時短を利用して仕事をする事も考えましたが、それも利用ですぎ、やめました。育休を3歳まで取得(可)、時短への企業側の理解を期待したく思います。また、一時預かりを頼みたくとも、受入れがしてもらえない事もあり、もっと受入れしてくれる所があれば嬉しいです。(保育園側から、人数がいっぱいで…と断られます。)
31	女	正社員	ふたり親	・夫の収入をふやし、妻の働く時間が遅くならないようにしてほしい。子どもと過ごす時間がほしい。子どもとの時間をつくりたいけど、お金も必要なので。子どもの、保育や教育を1番にしたいので、無償にすることで、他のことへ取りくめると思う。子の夜なき、体調もあるので、母親に負担がかからないような、仕事時間、育休、を取り入れてほしい
33	女	正社員	ふたり親	育休・産休取得が制度上あるが体質の古い上司からは思いきり嫌な顔をされる。私の場合は直属の上司がそうで、産前休暇中なのに働かされ、産後も何度もでんわがきて早くに復帰させられ、その上でまわりにも「女が休んで周りに迷惑かけて、こっちの方が逆マタハラだ!」とさわがれました。いちばん力の強い上司だったので、みんなおかしいと言いつつ誰も止めてくれませんでした。こういう古い体質、消え失せてほしいです
38	女	正社員	ふたり親	産休、育休制度をつかえる企業に就業している場合、4月からの子どもの保育園入園に向けて11月の認可保育園への申請ができる(4月入園でなくても、育休が明ける日にちは決められるので、それに合わせて申請できる)。しかし、私のような嘱託職員でしか採用がない職種(学校や市施設での不登校対応教員)は、例年2、3月に募集があるため、11月の段階では4月～働ける保障がない。保育園の申請ができないため、正職員の育休明けの人と同じスタートラインに立てないことにいつも疑問を感じている。誰もが正職員で産休育休をとれるわけではないのに、制度はいつもその人たちに合わせてつくられている。
42	女	非正規	ふたり親	時短勤務で働いているが、残業ができないので仕事を持ち帰っている。その分の手当てがないので、在宅分を認めてもらえるような仕組みを考えてほしい。
43	女	非正規	ふたり親	育児休暇が最長2年まで延長となったが、子の誕生日にもよるが実際には4月の保育園入所に合わせて復職出来る環境を整えなければ年度の途中の入所は更に難しい状況である。制度が有効に活用される為にも、年度途中の保育所の受け入れ体制など、整備されると良いと思う。
54	女	無業	ふたり親	行政…相談窓口や対応窓口が縦割りのためできるだけワンストップサービスをつくらしてほしい。企業…全ての社員と家族が健康的に生活もできて働ける風土をつくらしてほしい。残業をへらす、休暇は必ずとる。女性だけが育休を取っても母親だけに負担がかかる。社会…家庭というのは、家族全員の協力があってこそなりたつという考えが根付いてほしい。育児や家事は女性(母)だけするものではないと思う。
39	女	無業	ふたり親	給与が少なく生活できない。働くためには子供を預ける必要があるが求職中の人は認可保育園のポイントも低く入れない。子供がいても働ける環境が欲しい。また夫は常に深夜12～1時に帰るため自分が働きに出ると家事、育児、仕事をこなす体力、気力、時間がない。夫が気軽に育休や育児のために早く(せめて定時)帰宅できる環境がほしい。働けない理由は2つ目の方が大きい。
39	女	非正規	ふたり親	企業では時短勤務の期間がもうけてありますが、会社によって形態が様々です。就学と同じにフルタイムに戻るといふ所が多く感じられます。せめて中学校入学まで時短可能という選択ができるようになってほしいです。法律で小6まで時短可能となってくればより多くの女性が仕事を続けられると思います。
51	女	正社員	ふたり親	正社員と派遣社員(非正規)の格差がひどいと感じます。特に育休、時短勤務や子の病気休暇(自分の有休から取らざるをえない)が不十分ですので正社員と同じようにしてほしいです
47	女	正社員	ふたり親	大きな会社で働いている人は出産、育休、時短など恵まれていると思うが、個人経営、などの会社にはまったくあてはまらず不公平を感じる。病児保育などは分多くなっていると思うが、実際病気の子供を預けて仕事するのに罪悪感がある。休みづらい。子供が病気で休む事に対する職場の人の理解が得がたい(特に男性)
40	女	非正規	ふたり親	法制度上の育休を1年ではなく3年まで延ばして欲しかった。仕事が入り不足で大変。辞めるにも辞められない。子どもの学校等、行事の為に休みをとることが多く、働く時間を減らしたくても減らせない。学校も親を呼ぶ機会多くて対応できない
33	女	正社員	ふたり親	・フルタイム就業で続けないと家庭の生計が立ち行かなくなる。しかし、子をあずける場所の質は重視したい。保育所や保育サービスの充実を国にサポートしてほしい。・育休や子育て休暇など、制度はあっても全てを利用できるわけではなく、活かしていない。児童手当の拡大、保育園無料、子育て世帯への手当、給料UPなど金銭面での支援がもっとほしい。・現在時短勤務(1.5)時間短縮)を利用。使えるのが、子供が1才半までなので3才くらいまでに拡大してほしい。
33	女	正社員	ふたり親	・時短勤務をすることで不当な評価を受ける・妊娠中の通勤移動が困難。・フルタイム(3才～)になると保育園のおむかえに間に合わなくなる。→退職、転職等→時短勤務に対して(法律として)、選択できる年齢を拡大してほしい。

## 9 働き方

年齢	性別	仕事	世帯	自由記述
47	女	非正規	ふたり親	育児をしている女性が働きやすいようワーキングシェアが一般的になる社会を期待しています。高校からどんどん教育費がかかっていくのに児童手当の支援もなくなり医療費や交通費、通信費など大人と同じ費用がかかり家計の負担が一気に多くなり将来が不安。大学などの学費を支援（給付）していく社会を希望します。
32	女	非正規	ふたり親	キャリアアップをはかりたいが、小さい会社のためやめづらい。収入が下がると思うとローンもあるので勇気が出ない。働くことは好きだが、キャリアアップするタイミングがなかなか難しいです
44	女	無業	ふたり親	近くに働ける場がない。子育て中に時間など融通のきく会社がない。
35	女	無業	ふたり親	パートで働いている方にもボーナスがあればモチベーションが上がると思います
34	女	無業	ふたり親	子どもがいても就職する時、ハンデにならない社会。小さな子供がいる母を会社が雇う時、その会社に援助金が入るなどの制度があると良い。
38	女	非正規	ふたり親	なかなか小さい子がいると就活中、面接を受けつけてもらえなかった。企業で小さい人数で…とはわかるが、もう少し子を持つ女性を受け入れてくれる社会になるといいと思った
39	女	非正規	ふたり親	扶養、保険適応等、上限の縛りなしで働きたい
37	女	正社員	母子	夜勤をやめたい。
42	女	非正規	ふたり親	・幼い子供を持つ母親（父親）の再就職先の門戸を広げてほしい（年齢や、子の年齢で足りてほしくない）・多様な雇用形態（時間、日数）を持つ会社が増えて欲しい。・行政には、幼い子供を持つ従業員がいる会社を税制面や補助金などでサポートをして欲しい。
36	女	無業	ふたり親	なかなか近場で短時間の仕事が見つからない事。子供の春休み、夏休み、冬休み中休める仕事がなかなかない。
42	女	正社員	ふたり親	看護師の夜勤免除の期間を小学卒業まで延長できるようになるか、日勤常勤のわくもあると仕事を長く続けられると思います。
46	女	非正規	ふたり親	働き方改革を進めて男性も家事・育児に取り組める時間を増やせば女性の負担がもう少し減ると思う
41	女	非正規	母子	有給を増してほしい
47	女	非正規	ふたり親	今の職業は好きですが、帰宅時間も遅く仕事がハードである。転職したくても今の賃金が高いので、考えてしまう。もっと早く帰れて、もっと好きな仕事は賃金が低い。扶養内で働くには、お金がかせげないし、扶養からはずれて働いても社会保険料等を引かれると、扶養内で働く時と手取りが変わらない。（家族手当がつく為）
47	女	正社員	ふたり親	パートにも、有給休暇を広げてほしい。公休についても考慮してほしい。残業をどうしてもしなければならぬ時も、残業時間の申請ができない。ボーナス支給も考えてほしい。扶養内収入をもう少し広げてほしい。（働き損）



## 10 労働環境

年齢	性別	仕事	世帯	自由記述
44	女	正社員	母子	人員不足の為超勤や休日出勤が多い。連休もない。人員増員、賃金up、休日の確保。
32	女	非正規	ふたり親	残業ありきの働き方が「正社員」であると、子育てをしている人に限らず、家庭やしゆみを大切にしたい人にも働きづらいので、「子供のいる母親だから残業しない」のではなく、「普通みな残業しない」世の中になってほしいです。短時間勤務をしていると、皆より1時間早く帰るといよりは、3～4時間早く帰ることになり、成果を上げるために無理が必要でした。
52	女	正社員	ふたり親	・中学校の教員をしているが、部活動の短縮化や、サポート員の増加で教員の負担や働きすぎを軽減しようとする対策を行いつつある現代の行政であるが、現場としては、少人数学級（30人、25人）の実現と、正規教員の数を増やす事での負担軽減をお願いしたい。部活動はある事により大きな教育力になり、また教員が行う事で、大きな指導につながる。外部指導者の増加により、現場では、違う問題も起きてきているのも事実である。
40	女	非正規	ふたり親	産育休制度があるので、それを使い休んでいましたが、私が、ぬけた穴を、しっかりとした、カバーがされず、残された人たちに、負担がいつてしまうのでは、楽しんで育児にむかえなかった。制度がある今、それを作る人がいるのはあたり前なので、そうなった時、職場は、どう対応するのか、正規に準じる、臨時職員制度を、しっかりとしてほしい。子どもの小さな、一しゅんを、しっかりと自分の目で見たいと思うので…
40	女	非正規	母子	・男性が多い会社で働いていると、子供の体調不良時、看病したくても、休みづらい。・早出も、残業もあるので、子育て中の、家事を、しなければならぬ母親は、負担が大きくて、しんどいが生活の為に働かなければならぬ、結果、子どもは、ほったらかしになってしまう。収入が少なく、子どもとの時間も取れない為、寂しい思いをさせている。
45	女	非正規	ふたり親	長時間労働意識が企業からなかなかなくなる。短時間勤務でも生産性、効率よい働き方を評価されるように日本の企業の意識がかわらないかぎり、女性はいくらはたらいても、収入の低い労働にとどまる。真の意味で女性活躍、評価できる労働環境に変わるべきだと思う。
53	女	正社員	ふたり親	公務員ですが、それゆえに、仕事の偏りがあり、子が小さいetcの理由で仕事が軽減されていません。男女平等という名のもとに仕事が全く平等、いや女性に過分に任せられることもあります。公務員（特に教師）での環境整備についても調べて下さい。
31	女	正社員	ふたり親	育児休業をただけて子どもとすごすことができありがたい反面、24時間1人の時間のない日々や復帰への不安等で悩むことも多いです。しかし朝から晩まで仕事、休日も何かと仕事の入る主人に悩みを相談する時もなく復帰後の家事育児、長い就業時間、直前まで決まらない預け先など先のことは不安しかなく考えだすとおちこんでしまいます。社会全体として男性も女性も長時間すぎる労働時間を改善していけたらと思います。

## 11 両立

年齢	性別	仕事	世帯	自由記述
40	女	無業	ふたり親	育児をしながら働くのにやはりいじめやいやがらせがまだあります。子育てをおうえんしますとは建前でなかなか肩身のせまい思いをしながら働くのが現状なので少しでも理解をしてくれる世の中になってほしいと思います
30	女	非正規	ふたり親	できる事なら、土・日・祝休みの仕事がしたい。ヘタすると遅番などでPM9：00すぎになると寝ている時もあるから、コミュニケーションが取れない日もある。社員・パートの働く時間帯を見直してほしい。
47	女	正社員	母子	育児と仕事の両立が難しく、どちらかを優先すると、どちらかに負担が生まれるため、やはり仕事の負担を減らす必要がある。一定収入がある一人親でも生活のきびしさがあるため、支援の補助がほしい。児童手当だけでは不足している現状である。
35	男	非正規	父子	近くに住んでいる母が健在で、子の面倒を毎日みてもらっているが、仮に母が亡くなった時に、今のような状況で働き続けられるのかは不安ではある
32	女	正社員	ふたり親	就業時間が長く、平日子どもと関わる時間が全くとれず、辛い。自分の子どものこともしっかり面倒をみたい。
47	女	正社員	ふたり親	子供が病気のとき位つきそってあげられるよう、お休みのとれる職場を作ることに補助を出すなど。子育てしながらの仕事のストレスを軽減していかないとつらいと思います。人員を減らしていると休めないので、人員確保の法的人数を増やしてほしい。実際の状況もcheckしてほしい。
38	女	無業	ふたり親	仕事をしたくても学校（PTA）、幼稚園行事のこうそくが多すぎて、働きにくい
36	女	非正規	母子	・仕事をしている上で突発的残業がある。夕食を食べさせてもらえる子ども食堂が近くにあったら利用したい。病気になったら仕事には行けない。会社でも保健室の様な子どもが過ごせるスペースがあると安心です。
43	女	非正規	母子	今は、子供も大きくなり困ることはほとんどなくなったが、やはり子供の健康状態が母親の就業へ影響を与える。体調の悪い子は、どうしても母親を求めるので病後児保育の充実を願いつつも、やはり、休みやすい就業環境が欲しい。
41	女	無業	ふたり親	母親は、子供の学校関係でやむを得ず休まなければ、いけない事がある。派遣などは固定なので、休みにくい。不規則な休みにも対応してほしい。
43	女	正社員	ふたり親	状況にあわせて柔軟に選択できる就業形態を充実させてほしい。また、気軽に利用できる家事・育児支援サービスや金銭的支援がなければ、親の支援がない人が仕事と家庭を両立するのは大変です。私は両立が難しいと感じ、このたび長くつとめた会社を退職予定です。
44	女	正社員	ふたり親	仕事内容によっては、いくら給料がよくても、子供に習い事をさせることができない（送迎や当番活動など）。そのため、仕事をやめることにしたが、なかなか仕事をおもいっきりはじめられないでいる。本当に両立が難しい期間だけ休んだり、仕事を減らすことができればよいと思う。

## 12 経済的支援

年齢	性別	仕事	世帯	自由記述
37	女	無業	ふたり親	金銭的な援助がもっと欲しいです。子どもが3人ほしくてもお金の問題であきらめる人は周りにも本当にたくさんいます。3人目からの支援や優遇が国や、企業からももっとたくさんあって3人目ウェルカムな社会になればもっと子供を産む人が（3人以上）増えるのではと思います。早急をお願いします。
33	女	非正規	母子	育児に必要な時間の給与保障の確保。就業時間短縮で給与削減は避けるべきです。余裕を持って子育て出来る環境を整えることは必須だと考えます。
34	女	非正規	母子	家事代行のサービスに対する補助。子育てに対する金銭補助
42	女	非正規	母子	働かなければお金はもらえない。＝生活はきびしくなる。でも、働けば、子供との時間はなくなる。これは、あたり前の事ですが、現実問題です。市営住宅に入りたくても当選しない。又は引っ越しお金もない…時間の余裕もない状況です。もっと現実を見ていただいて、行政、社会等からの支援を期待したいです。
45	女	非正規	母子	生活保護手当が少なく生活が苦しい。子供が病気になった場合、タクシー利用券がほしい。車の免許を取りたいがお金が支払いできない。区役所の手続きが面倒で、わかりやすく説明してもらえたり、子供自立支援詳しい話が聞きたい
33	女	正社員	母子	金銭的に余裕がなく、夜間のアルバイトも考えているが小学生の子どもを置いて家を空ける不安と、子どもとの時間が全くなくなるのではという不安があり夜間のアルバイトに出る決心がつかず困っている。一人になる時間がほしい。
34	女	非正規	母子	・自分が望む職種に時短が無く、社員もむずかしい。時給になるので、子供が体調悪くて園を休むと不安になります（お金の）。・両親や友人が東京、埼玉の為にたよれる友人（ママ友や職場）が少なく交友がほとんどない。・生活がギリギリなのにNHK料金や、園の寄付金など余裕ないです。こちらがしてもらいたいくらいです。

## 13 税・年金・社会保障

年齢	性別	仕事	世帯	自由記述
44	女	非正規	ふたり親	最低賃金を上げてほしい。不妊治療の助成金を増やしたほうがよい。
42	女	正社員	母子	夫を亡し、遺族年金を頂いています。子供の保障が18才迄となっているが、大学進学等でお金が必要です。年金の受給を22才（大学卒業）までのばしてほしい。子を育てるに当たり、年金がとても助けとなった。
45	女	非正規	母子	将来の為に店舗を経営し始めたが軌道に乗るまで生活がひっ迫しているため、困っている。助成金などがあればいいと思う。一時的に生活保護とも考え、説明を聞きに行ったが車は仕込みに必要だし生命保険も子供たちのために必要だし、病気があり、後々入り直すことができないので生活保護を申し込めずにいる。本当に困っているのに、何のための生活保護なのか。一時的でいいのに。
39	女	非正規	ふたり親	救急医療や相談窓口の更なる充実
43	女	非正規	ふたり親	夫の収入が額面上は高収入ですが、実際の手取りは売上等で左右され額面を大幅に少ない時もあります。幼稚園の補助金は年取で決まるので、出来れば一律して頂けると助かります。税金は手取り関係なく支払っているの、正直きついです。

## 14 行政支援

年齢	性別	仕事	世帯	自由記述
40	女	正社員	ふたり親	行政は、もっと、説明したり情報を伝えたりわかりやすくするべき。例えば、初めて、離婚をする人は初めてなのだから、離婚後、どのような、サービス（？）制度をうけられるのかわからないのだから、教えてあげるべき。自分で気付いて、申しこみに行かないと、ズーっとわからないままというかんじなので不親切だと思う。（離婚に限らずです。）
30	女	無業	ふたり親	3人、子供が居るので、交通きかんや、プレイパークなどで、3人目は無料（例）など、多子家庭に対して、支援があると助かる。多子を持つ親が子育てしやすい国であってほしい。
39	女	正社員	ふたり親	フルタイム、正社員で出産後も続けていける様にと国の補助、サポートは増えていますが、離職した人が、出産後社会復帰するサポートが少ないと思います。フルタイムではなく少しだけ働きたいけど、預け先がない。幼稚園だと夏休みや早帰りなどで働きたいけど、難しいなど色々あります。正社員の人ばかりがサポートされている様な不平等さを感じる時があります。
46	男	無業	父子	メンタルケア、サポートに対する支援制度が存在しない。日本は非常に遅れており、追いつめられる人が多いのではないかと感じている。就労も大事だが、精神の安定の為の支援も同様だと考えている。自分は「そううつ」の為浮き沈みが激しく「安定」出来ないのです
45	女	非正規	ふたり親	縦のつながりもある程度必要だと思うが、特に育児中は横のつながりがすごく大事だと思います。私自身、同じ立場で（子育て中のママ）週に数回会う時にたわいもない話や育児の悩み相談ができ、「私だけじゃないんだ。」と思う事ができて何度も救われました。行政・企業・社会には、そういう集まりの場を作って頂き、その中でママ同士や同じ悩みがある人同士、お話できたら充分だと思います。（経済的支援や本格的な精神的ケアが必要な方は除く）
39	女	正社員	母子	高等技能訓練促進費のおかげで看護師になる道が開け、安定した収入を得ることができるようになり、大変感謝しています。しかし、そのような制度があることを知らず、一番最初に看護師になりたいと思いついた時から、実際看護学校に通いはじめるまで、10年ほどバイトやハケンで不安定な生活で、メンタルを病んだりもしました。そういう制度があるということを、もっともっとアピールして知っていただきたい、と思います。
33	女	正社員	ふたり親	・もっと子どもを産みたいけれど、収入が減ることを考えると、諦めるしかないことが悲しいです（今、いる子の進学の資金などもあり…）。頼りになる身内もないため、何が何でも働き続けるしかないのが現状です。女性の出産、育児の経済的支援を期待しています。・私は元夫からの暴力等が原因で離婚しました。当時無職だったため、子どもの親権は元夫のものとなり、5年間、子どもと離れて暮らし、その間も、元夫から人間として扱われることはありませんでした。社会的立場の低い専業主婦などへの支援がもっと欲しいと切に願います。そのような情報も、もっと社会全体に広まるようになるとよいです。

## 15 社会への希望

年齢	性別	仕事	世帯	自由記述
47	女	正社員	ふたり親	子育ては母親がすべきという認識を変えてほしい。もっと政治・経済で女性が進出させてほしい。「親の支援」という観点でなく、「子どもの健全な育成」という視点で、積極的に子どもの支援をしてほしい。親も子どもを私物化せず、社会全体で次世代を育てていくようになってほしいです。私的な悩みとしては、フル勤務で、児童センターを利用しているが質が低く、子どもがイヤがって困っている。いい加減管理的教育はやめてほしい。
53	女	非正規	母子	子供たちがおかれている環境。子供は学校で目立たないように生活しないと、いじめの対象になる。人のことを落とし入れ、そうされないよう周りをうかがいながら生活している。そうしてしまう子（いじめる側の子）は、その子が満たされていないのではないかと感じます。どうして人を攻撃してしまうのかと考えると、その子自身に何か解決できない闇をかかえているのではと感じます。家庭のあり方が問われる時なのではと思います。
47	女	非正規	ふたり親	女性活躍社会と言っていますが、保育所、待機児童の問題だけでなく、配偶者の転勤が決まった時、幼い子どもと母親を残して単身赴任は経済的にも育児の上でも現実的ではありません。そうすると、女性が仕事を辞めてついていくのが現状ではないでしょうか。100（フルタイム）か0（退職）ではなく、ワークシェアでも働ける会社、育児しながら続けられる環境が整ってくれたらいいと思います
41	女	無業	ふたり親	子育てと仕事を両立するのは、とてもハードな生活になります。経済的な支援、手当だけではなく、子育てに専念できるためには、夫の収入の増だと思えます。会社の給与を上げるためにはやはり景気をあげなければなりません。母親のストレスを少しでも減らせば子供へのぎゃくたいなど減ると思えます。

## 16 その他

年齢	性別	仕事	世帯	自由記述
34	女	非正規	母子	市営・県営住宅の建て直し。
39	女	非正規	母子	役所関係（市・区役所、年金、税金全て。）の夜の営業、又は土・日・祝の営業

## 付属資料 2 調査票

秘

## 「子どものいる世帯の生活状況および 保護者の就業に関する調査 2018」 (第5回子育て世帯全国調査)

この調査では、子どものいるご家庭の生活状況やその保護者（とくに母親）の仕事の実態や要望などをお伺いします。今後の皆様への支援策のあり方を研究するための基礎資料として、独立行政法人労働政策研究・研修機構が企画・実施しております。なお、代表性を確保するために、住民基本台帳から無作為に調査対象者を選ばせていただいております。

お忙しいところ、ご面倒なお願いで誠に恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

**調査主体：独立行政法人 労働政策研究・研修機構**

〒177-8502 東京都練馬区上石神井4-8-23

電話〇〇〇〇 子育て世帯調査係

調査関連情報サイト：<http://www.jil.go.jp/information/enquete/index.html>

**調査実施：株式会社RJCリサーチ**

〔記入上のお願い〕

この調査は、18歳未満のお子さんを育てている方を対象にしています。

○特別に言及しないかぎり、平成30年11月1日現在の状況で記入してください。

○回答は数字を記入するものと、回答の数字を○で1つまたは複数囲むものがあります。  
「その他」をお選びになった場合は、( ) の中にその内容を具体的にご記入ください。

○ご回答いただいた方には、謝礼（図書カード500円分）を差し上げます。

○ご記入いただいたアンケートは 月 日 時ごろ、調査員が受け取りにお伺いします。一緒にお渡しした封筒に入れて封をした状態でお渡しください。

ご不明の点がございましたら、下記までお問い合わせください。

### 【調査実施・お問合せ先】

株式会社RJCリサーチ

担当：〇〇、〇〇、〇〇

連絡先：0120-207-180

(問い合わせ時間：平日10時～18時)

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-23-1

TSビル2階

<http://www.rjc.co.jp/>



このマークは個人情報の保護措置が適切であると認定された事業者に付与されるものです。一般財団法人日本情報経済社会推進協会が審査・認定します。皆様から得られた個人情報の保護・取扱いには十分な注意を払います。

■まず、あなたご自身のことについておたずねします。

問1 (1) あなたの性別はどちらですか。(○は1つ)

1 男性	2 女性
------	------

(2) あなたの生年月月をお知らせください。配偶者のいる方は、配偶者についてもお答えください。  
(なお、配偶者には婚姻届を出していない内縁の方を含みます。)

※昭和20年は1945年、平成元年は1989年です。

①あなたご自身	西暦	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	<input type="text"/>	月
②配偶者	西暦	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	<input type="text"/>	月

(3) あなたには、現在、配偶者がいますか。(○は1つ)

1 法律婚の配偶者がいる	2 事実婚の配偶者がいる	3 配偶者がいない・行方不明
--------------	--------------	----------------

(4) あなたのご家庭は、次のどの世帯類型に一番あてはまりますか。(○は1つ)

1 母子・父子世帯 (祖父母等親族との同居世帯を含む)	2 ふたり親世帯	3 親のいない世帯
--------------------------------	----------	-----------

注：離婚に向けて手続きが進んでいる場合は、「1 母子・父子世帯」に○をつけてください。  
単身赴任などで一時的に別居や、事実婚の場合は、「2 ふたり親世帯」に○をつけてください。

(5) お子さんからみて、あなたは次のどの立場にあたりますか。(○は1つ)

1 母親	3 祖父母
2 父親	4 その他(具体的に )

(6) 世帯主(ご家族の生計を主として維持している方)からみて、あなたは次のどの立場にあたりますか。(なお、配偶者には婚姻届を出していない内縁の方を含みます。)(○は1つ)

1 世帯主本人	5 配偶者の親
2 配偶者	6 子
3 兄弟・姉妹	7 子の配偶者
4 親	8 その他(具体的に )



■次に、お仕事の状況についておたずねします。

問2 (1)あなたは、現在収入をとまなう仕事（育休中を含む）をしていますか。（○は1つ）

- |                        |                   |
|------------------------|-------------------|
| 1 求職活動もしていないし、仕事もしていない |                   |
| 2 求職活動中であるが、仕事はしていない   |                   |
| 3 している                 | → 次ページの間3へお進みください |

【以下の（2）～（8）は、現在、仕事をしていない方におたずねします。】

（仕事をしている方は次ページの間3へお進みください。）

(2)あなたが、最後に従事したお仕事の形態は、次のどれにあたりますか。（○は1つ）

- |             |                        |
|-------------|------------------------|
| 1 正社員・正規職員  | 6 自営業                  |
| 2 嘱託・契約社員   | 7 自営業の手伝い              |
| 3 派遣社員      | 8 個人業務請負※注             |
| 4 パート・アルバイト | 9 内職                   |
| 5 日雇い       | 10 その他（具体的に )          |
|             | 11 仕事についての経験がない → (5)へ |

注:「個人業務請負」は、個人事業主として企業と業務請負契約を結び、仕事をする場合を指しています。

(3)あなたが、そのお仕事をやめたのは、いつ頃ですか。

西暦 

--	--	--	--

 年 

--	--

 月頃

(4)あなたが、そのお仕事をやめた主な理由は何ですか。（○は3つまで）

- |                       |                         |
|-----------------------|-------------------------|
| 1 キャリアの発展の展望が見えなかった   | 8 妊娠・出産を機に退社することが一般的だった |
| 2 もっと自分にあった他の仕事を見つけた  | 9 仕事と育児との両立が難しいと判断した    |
| 3 リストラ・解雇・退職勧奨された     | 10 配偶者の転勤が決まった          |
| 4 仕事の内容や働き方が自分に合わなかった | 11 家族がやめることを希望した        |
| 5 仕事によるストレス等で体の不調が生じた | 12 子育てに専念したかった          |
| 6 仕事の契約期間が終了した        | 13 仕事が忙しすぎて、妊娠しにくいと感じた  |
| 7 結婚を機に退社することが一般的だった  | 14 不妊治療に専念したかった         |
|                       | 15 その他（具体的に )           |

(5)あなたが、現在働いていない理由は何ですか。主なものを2つまで選んでください。

（○は2つまで）

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 1 仕事の探し方がわからない     | 7 子どもの保育の手だてがない   |
| 2 収入について条件の合う仕事がない | 8 家族の介護をしなければならない |
| 3 時間について条件の合う仕事がない | 9 家庭内の問題を抱えている    |
| 4 自分の年齢に合う仕事がない    | 10 子育てに専念したい      |
| 5 知識・経験をいかせる仕事がない  | 11 経済的理由で働く必要がない  |
| 6 健康上の理由で働くことができない | 12 その他（具体的に )     |

(6)あなたは、今後働きたいと思いますか。(○は1つ)

1 今すぐに働きたい

2 今は働けないがそのうち働きたい

3 働きたいと思わない

4 働くことができない

→ 6ページの問12  
へお進みください

【以下の(7)と(8)は、今後働きたいのに、現在、仕事をしていない方におたずねします。】

(7) 今後は、どのような形態で働きたいと考えていますか。(○は1つ)

1 正社員・正規職員

2 嘱託・契約社員

3 派遣社員

4 パート・アルバイト

5 日雇い

6 自営業

7 自営業の手伝い

8 個人業務請負

9 内職

10 その他(具体的に )

(8) 今後、仕事につく場合に重視することはどれですか。次の中からあてはまるものを3つまでお選びください。(○は3つまで)

1 身分が安定している

2 厚生年金や雇用保険に入れる

3 十分な収入が得られる

4 残業が少ない

5 通勤時間が短い

6 土日祝日に休める

7 就業時間の融通がきく

8 経験や能力が発揮できる

9 その他(具体的に )

この設問の回答後は7ページの問12へお進みください

【問3～問11は、現在、仕事をしている方(育休中の方を含む)におたずねします。】

問3 現在のお仕事の形態は、次のどれにあたりますか。複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事1つだけについてお答えください。(○は1つ)

1 正社員・正規職員

2 嘱託・契約社員

3 派遣社員

4 パート・アルバイト

5 日雇い

6 自営業

7 自営業の手伝い

8 個人業務請負

9 内職

10 その他(具体的に )

問4 現在のお仕事や勤め先の業種は、次のどれにあたりますか。(○は1つ)  
(派遣社員の方は、派遣先の事業をお答えください。)

1 農林漁業

2 建設業

3 製造業

4 電気・ガス・熱供給・水道業

5 情報通信業

6 運輸業

7 卸売業、小売業

8 金融・保険・不動産業

9 飲食店、宿泊業

10 医療・福祉

11 教育、学習支援業

12 複合サービス業(協同組合、郵便局)

13 その他サービス業(協同組合、郵便局以外)

14 公務

15 その他(具体的に )

問5 (1) 現在のお仕事の職種は、次のどれにあたりますか。(○は1つ)

- |    |   |
|----|---|
| 1  | 専門・技術的職業（医師、看護師、弁護士、教師、技術者、デザイナーなど）                       |
| 2  | 管理的な仕事（企業・官公庁における課長職以上、経営者など）                             |
| 3  | 事務的な仕事（企業・官公庁における一般事務、経理、内勤の営業など）                         |
| 4  | 営業・販売の仕事（小売・卸売店主、店員、不動産売買、保険外交、外勤のセールスなど）                 |
| 5  | 技能工・生産工程に関わる職業<br>（製品製造・組立て、自動車整備、建設作業員、大工、電気工事、農水産物加工など） |
| 6  | 運輸・通信の仕事（トラック・タクシー運転手、船員、郵便配達、通信士など）                      |
| 7  | 保安的職業（警察官、消防士、自衛官、警備員など）                                  |
| 8  | 農林漁業に関わる職業  |
| 9  | サービスの職業（理・美容師、料理人、ウェイトレス、介護福祉士、ホームヘルパーなど）                 |
| 10 | その他（具体的に _____ ）  |

(2) あなたのお仕事が、以下の職種に含まれていますか。(○は1つ)

- |   |                |    |              |    |           |
|---|----------------|----|--------------|----|-----------|
| 1 | 販売店員           | 8  | 飲食物給仕・身の回り世話 | 15 | 小学校教員     |
| 2 | 総合事務員          | 9  | 保育士          | 16 | 娯楽場等接客員   |
| 3 | 看護師（准看護師を含む）   | 10 | 庶務・人事事務員     | 17 | 理・美容師     |
| 4 | 会計事務           | 11 | 運搬・清掃・包装等    | 18 | 金融・保険営業   |
| 5 | 調理人            | 12 | 農耕           | 19 | 訪問介護      |
| 6 | 食料品製造          | 13 | 営業・販売事務      | 20 | 繊維製品製造    |
| 7 | 介護職員（医療・福祉施設等） | 14 | 受付・案内事務員     | 21 | 上記に含まれてない |

(3) あなたのお仕事の性質はどのようなものですか。(○はいくつでも)

- |   |                                       |
|---|---------------------------------------|
| 1 | 対外的な折衝をする仕事（渉外、バイヤー、法人営業など）           |
| 2 | 顧客のもとに向いて行う仕事（外回りの営業、顧客先での常駐、集金・集荷など） |
| 3 | 他人の仕事を補助する仕事（秘書、助手、補佐など）              |
| 4 | 職業資格を必要とする仕事                          |
| 5 | 会社の事業を立案する仕事                          |
| 6 | スタッフを管理する仕事                           |
| 7 | 上記いずれもあてはまらない                         |

問6 勤務先の従業員（パート・アルバイトなどを含む）は、会社全体で何人くらいですか。  
（派遣社員の方は、**派遣先**の企業規模をお答えください。）（○は1つ）

- |   |         |   |            |   |              |    |       |
|---|---------|---|------------|---|--------------|----|-------|
| 1 | 1人      | 4 | 10～30人未満   | 7 | 300～500人未満   | 10 | 官公庁   |
| 2 | 2～5人未満  | 5 | 30～100人未満  | 8 | 500～1,000人未満 | 11 | わからない |
| 3 | 5～10人未満 | 6 | 100～300人未満 | 9 | 1,000人以上     |    |       |

問7 (1) 残業時間を含めて、現在のお仕事の1週間あたりの平均就業時間は、何時間ですか。

1週間あたり  時間

(2)就業時間は、規則的ですか。(○は1つ)

1 規則的	2 おおむね規則的	3 おおむね不規則	4 不規則
-------	-----------	-----------	-------

(3)ふだん働いている時間帯は、次のどれにあたりますか。(○はいくつでも)

1 早朝(5時～8時)	2 日中(8時～18時)	3 夜間(18時～22時)	4 深夜(22時～翌5時)
-------------	--------------	---------------	---------------

(4)通常、通勤には片道何分くらいかかりますか。

片道 

--	--	--

 分程度

問8 現在の勤め先に勤め始めたのは、いつですか。

(いったん退職した後に同じ会社で再就職した場合には、再就職した時点を記入してください。)

西暦 

--	--	--	--

 年 

--	--

 月

問9 全体として、現在のお仕事に満足していますか。(○は1つ)

1 満足	2 まあまあ満足	3 どちらともいえない	4 やや不満足	5 不満足
------	----------	-------------	---------	-------

問10 今後3年くらいの間、あなたはどのような働き方(仕事の形態)を希望しますか。(○は1つ)

1 現在の会社・組織で、正社員の形で働き(続け)たい
2 現在の会社・組織で、契約社員等、正社員以外の形で働き(続け)たい
3 別の会社・組織に転職して、正社員の形で働きたい
4 別の会社・組織に転職して、正社員以外の形で働きたい
5 独立して事業を始めたい
6 仕事をしばらくやめたい
7 その他(具体的に )
8 特に考えていない

問11 仕事と家庭生活のバランスについて、この1年間に以下のようなことがどのくらい起きていますか。下記のア～ウについて、それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

(○はそれぞれ1つずつ)

	ほぼ毎日	週に何回 かある	月に何回 かある	年に何回 かある	めったに ない	全く ない
ア 仕事で疲れ切ってしまう、しなければならぬ家事や育児のいくつかができなかった。 →	1	2	3	4	5	6
イ 仕事にあてる時間が長すぎるために、家事や育児を果たすことが難しくなっている。 →	1	2	3	4	5	6
ウ 家事や育児の負担があるために仕事に集中することが難しくなっている。 →	1	2	3	4	5	6

**【全員の方におたずねします。】**

■これまでのお仕事の状態についておたずねします。

問 12 あなたの今までの職業のキャリアコースは、次のどれに最も近いですか。(○は1つ)

- |   |                                      |
|---|--------------------------------------|
| 1 | 一社継続型 (学校卒業後についた勤務先でずっと働き続けてきた)      |
| 2 | 転職継続型 (転職経験はあるが、学校卒業後は働き続けてきた)       |
| 3 | 退職復帰型 (出産や育児などで退職したものの、再就職して働き続けている) |
| 4 | 就業中断型 (退職して現在は無職だが、今後働く予定がある)        |
| 5 | 完全退職型 (退職しており、今後も働く予定がない)            |
| 6 | その他 (具体的に )                          |

**【問 13(1)～(6)は女性の方におたずねします。】(男性の方は、8 ページの間 14 へお進みください。)**

問 13(1) 第 1 子が誕生する前後のあなたのお仕事状況についておたずねします。

次のア～オの時期について、それぞれあてはまるもの 1 つに○をつけてください。

	無職	正社員・ 正規職員	嘱託・契約・ 派遣社員	パート	自営業 ・内職	育児 休業中	その他
ア 妊娠判明直前 →	1	2	3	4	5	6	7
イ 出産3ヶ月前 →	1	2	3	4	5	6	7
ウ 出産3ヶ月後 →	1	2	3	4	5	6	7
エ 出産1年後 →	1	2	3	4	5	6	7
オ 出産3年後 →	1	2	3	4	5	6	7

(2) 第 1 子の妊娠が判明してから出産後 3 年くらいまでの間に、あなたは仕事をやめたり、変えたりしましたか。以下あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |            |             |             |
|------------|-------------|-------------|
| 1 仕事をやめた   | 3 勤務先を変えた   | 5 職種を変えた    |
| 2 勤務形態を変えた | 4 労働時間を短縮した | 6 所属部署が変わった |
|            |             | 7 該当なし      |

**【(2)で「1 仕事をやめた」と答えた方におたずねします。】**

→(3) 第 1 子を妊娠・出産前後に仕事をやめた主な理由は何ですか。(○は3つまで)

- |                       |                        |
|-----------------------|------------------------|
| 1 キャリアの発展の展望が見えなかった   | 7 仕事と育児との両立が難しいと判断した   |
| 2 もっと自分にあった他の仕事を見つけた  | 8 妊娠や出産を機に退社する事が一般的だった |
| 3 リストラ・解雇・退職勧奨された     | 9 配偶者の転勤が決まった          |
| 4 仕事の内容や働き方が自分に合わなかった | 10 家族がやめることを希望した       |
| 5 仕事によるストレス等で体の不調が生じた | 11 子育てに専念したかった         |
| 6 仕事の契約期間が終了した        | 12 その他 (具体的に )         |

**【(3)で「7 仕事と育児との両立が難しいと判断した」と答えた方におたずねします】**

(4)あなたが「仕事と育児との両立が難しいと判断した」具体的な理由は何ですか。(○は3つまで)

- |                           |                          |
|---------------------------|--------------------------|
| 1 自分の体力がもちそうになかった(もたなかった) | 6 会社に育児休業制度がなかった         |
| 2 妊娠・出産にともなう体調不良          | 7 育児休業を取れそうもなかった(取れなかった) |
| 3 子供の病気等でたびたび休まざるを得なかった   | 8 勤務時間が合いそうもなかった(合わなかった) |
| 4 子供の保育の手立てがなかった          | 9 職場に両立を支援する雰囲気がなかった     |
| 5 家族がやめることを希望した           | 10 その他 (具体的に )           |

(5) 第1子を出産した後に、仕事再開の有無と再開した時期についてお答えください。(○は1つ)

1 再開した →子どもが( )歳( )カ月時に再開      2 再開していない →(7)へ



【(5)で「1 再開した」と答えた方におたずねします。】

(6) 仕事を再開した際には、勤務先や職種等の変更はありましたか。(○はいくつでも)

- |            |             |        |
|------------|-------------|--------|
| 1 変更はなかった  | 4 労働時間を短縮した | 7 該当なし |
| 2 勤務形態を変えた | 5 職種を変えた    |        |
| 3 勤務先を変えた  | 6 所属部署が変わった |        |

【(5)で「2 再開していない」と答えた方におたずねします】

(7) 今後仕事を再開する予定の有無とその時期についてお答えください。(○は1つ)

1 ある → 西暦(20 )年( )月ごろに再開予定      2 ない      3 分からない

【全員の方におたずねします。】

問14(1) あなたが学校を卒業した後に、社会人として初めてついた、収入をとまなう仕事は次のどれにあてはまりますか。2つ以上のお仕事をしていた方は、主な仕事1つだけについてお答えください。(○は1つ)

- |             |                 |
|-------------|-----------------|
| 1 正社員・正規職員  | 7 自営業の手伝い       |
| 2 嘱託・契約社員   | 8 個人業務請負        |
| 3 派遣社員      | 9 内職            |
| 4 パート・アルバイト | 10 その他(具体的に )   |
| 5 日雇い       | 11 仕事についての経験がない |
| 6 自営業       |                 |
- 11 ページの間 16 へお進みください

(2) あなたは学校を卒業してから今まで、通算何年ほど働きましたか。そのうち、正社員として働いた期間は何年程度でしたか。

就業期間は通算  年程度      うち、正社員期間は通算  年程度

【(3)～(8)は、学校卒業後に社会人として初めてついたお仕事についておたずねします。】

(仕事についての経験のない方は、11 ページの間 19 へお進みください。)

(3) 社会人として初めてついたお仕事の内容は、大きく分けて次のどれにあたりますか。(○は1つ)

- |   |
|---|
| 1 専門・技術的職業(医師、看護師、弁護士、教師、技術者、デザイナーなど)                       |
| 2 管理的な仕事(企業・官公庁における課長職以上、経営者など)                             |
| 3 事務的な仕事(企業・官公庁における一般事務、経理、内勤の営業など)                         |
| 4 営業・販売の仕事(小売・卸売店主、店員、不動産売買、保険外交、外勤のセールスなど)                 |
| 5 技能工・生産工程に関わる職業<br>(製品製造・組立て、自動車整備、建設作業員、大工、電気工事、農水産物加工など) |
| 6 運輸・通信の仕事(トラック・タクシー運転手、船員、郵便配達、通信士など)                      |
| 7 保安的職業(警察官、消防士、自衛官、警備員など)                                  |
| 8 農林漁業に関わる職業  |
| 9 サービスの職業(理・美容師、料理人、ウェイトレス、介護福祉士、ホームヘルパーなど)                 |
| 10 その他(具体的に )   |

(4) そのお仕事についてのいつ頃でしたか。

西暦     年   月頃

(5) そのお仕事の勤務先の従業員（パート・アルバイトなどを含む）は、会社全体で何人くらいですか。（派遣社員の方は、実際に働いていた会社の企業規模をお答えください。）（○は1つ）

- |              |                |
|--------------|----------------|
| 1 1人         | 7 300～500人未満   |
| 2 2～5人未満     | 8 500～1,000人未満 |
| 3 5～10人未満    | 9 1,000人以上     |
| 4 10～30人未満   | 10 官公庁         |
| 5 30～100人未満  | 11 わからない       |
| 6 100～300人未満 |                |

(6) そのお仕事を、現在も続けていますか。（○は1つ）

- |       |             |
|-------|-------------|
| 1 はい  | → 次ページの問16へ |
| 2 いいえ |             |

【(7)～(8)は、社会人として初めてついたお仕事をやめた方におたずねします。】

(7) そのお仕事をやめた時期はいつ頃ですか。

西暦     年   月頃

(8) そのお仕事をやめた後は、あなたは、再就職（自営業についての場合なども含みます）しましたか。再就職した方は、これまでの転職回数もご記入ください。（○は1つ）

- |         |                                      |            |             |
|---------|--------------------------------------|------------|-------------|
| 1 再就職した | ⇒ これまでの転職回数（ <input type="text"/> ）回 | 2 再就職していない | → 次ページの問16へ |
|---------|--------------------------------------|------------|-------------|

問 15 そのお仕事をやめた主な理由について、次の中からあてはまるものを3つまでお選びください。

- |                       |                                    |
|-----------------------|------------------------------------|
| 1 キャリアの発展の展望が見えなかった   | 8 妊娠・出産を機に退社することが一般的だった            |
| 2 もっと自分にあった他の仕事を見つけた  | 9 仕事と育児との両立が難しいと判断した               |
| 3 リストラ・解雇・退職勧奨された     | 10 配偶者の転勤が決まった                     |
| 4 仕事の内容や働き方が自分に合わなかった | 11 家族がやめることを希望した                   |
| 5 仕事によるストレス等で体の不調が生じた | 12 子育てに専念したかった                     |
| 6 仕事の契約期間が終了した        | 13 仕事が忙しすぎて、妊娠しにくいと感じた             |
| 7 結婚を機に退社することが一般的だった  | 14 不妊治療に専念したかった                    |
|                       | 15 その他（具体的に <input type="text"/> ） |

【全員の方におたずねします。】

問 16 あなたの過去3年間のお仕事の状況についておたずねします。

- (1) 過去3年間に、あなたは収入をとまなう仕事をしていましたか。次のア～ウの時期について、あてはまるものにそれぞれ1つだけ○をつけてください。
- (2) 【就業しない期間があった方に】それぞれの時期で、就業しない期間があったのはなぜですか。

時期	(1) 就業状態	(2) 就業しない期間があった理由
ア 2015年	1 全く就業していなかった 2 就業期間が半年未満 3 就業期間が半年以上1年未満 4 年間を通じて就業していた	1 就業する必要がなかった 2 就業したくなかった 3 自分に合う職がなかった 4 学生だった 5 就職準備中だった 6 産休・育児休業中だった
イ 2016年	1 全く就業していなかった 2 就業期間が半年未満 3 就業期間が半年以上1年未満 4 年間を通じて就業していた	1 就業する必要がなかった 2 就業したくなかった 3 自分に合う職がなかった 4 学生だった 5 就職準備中だった 6 産休・育児休業中だった
ウ 2017年	1 全く就業していなかった 2 就業期間が半年未満 3 就業期間が半年以上1年未満 4 年間を通じて就業していた	1 就業する必要がなかった 2 就業したくなかった 3 自分に合う職がなかった 4 学生だった 5 就職準備中だった 6 産休・育児休業中だった

【問 17～問 18 は、昨年（ウ 2017 年）に仕事をしていた方におたずねします。】

（「1 全く就業していなかった」方は次ページの間 19 へお進みください。）

問 17(1) あなたは、昨年1年間のうち、何カ月程度働きましたか。

合計  カ月程度

(2) 働いていた月には、平均して週に何時間くらい働きましたか。

1 週間に  時間程度

問 18(1) あなたは、過去1年間に2つ以上のお仕事を同時に持ったことがありますか。（○は1つ）

1 ある（現在もしている）	3 ない	→ 次ページの間19へお進みください
2 ある（現在はしていない）		

【(2)は、過去1年間に副業をしたことがある方におたずねします。】

(2) 昨年1年間に副業から得られた収入（税込み）は、いくらくらいですか。自営の場合は必要経費を除いた売上高をお答えください。

昨年1年間で  万円程度



**【全員の方におたずねします。】**

**■自己啓発と資格についておたずねします。**

問 19(1) あなたは、過去の1年間で会社等の業務としてではなく、職業に関する能力を高めようと次のア～イのような自己啓発を行いましたか。

	自己啓発の有無 (○は1つ)	自己啓発の手段 (○はそれぞれいくつでも)				
		学校に通った	講習会に参加した	通信教育を受講	独学した	その他
ア 専門知識の勉強 →	1 なし 2 あり →	1	2	3	4	5
イ 資格取得のための学習 →	1 なし 2 あり →	1	2	3	4	5

(2) 対象となる資格の名前または番号 (問 20(1)の1~30で当てはまるもの) をお答えください。

( )

問 20(1)あなたの持っている各種資格について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

(○はいくつでも)

1 看護師	9 歯科衛生士	17 保育士・幼稚園教諭	25 宅地建物取引士
2 准看護師	10 視能技能士・言語聴覚士	18 教員免許(小・中・高)	26 危険物取扱者免状
3 社会福祉士	11 保健師	19 医療事務	27 司法書士・行政書士・税理士
4 作業・理学療法士	12 介護福祉士	20 簿記資格	28 普通自動車免許
5 薬剤師	13 ホームヘルパー	21 パソコン関連資格	29 大型・特殊自動車免許
6 針灸・柔道整復師	14 ケアマネジャー	22 語学関連資格	30 その他
7 医師	15 栄養士	23 司書	(具体的に )
8 助産師	16 調理師、理・美容師	24 ( ) 級建築士	31 資格は持っていない

→ 問 21 へお進みください

**【(2)と(3)は、資格を持っている方におたずねします。】**

(2) 現在持っている資格のうち、今の仕事に役立っているものがありますか。「ある」とお答えの方は最も役に立っている資格を2つまで、問 20(1)で答えた番号の数字と取得時期をご記入ください。

1 ない	2 ある ⇒	もっとも役に立っている資格： 番号 ( ) 取得時期 西暦 ( ) 年
		次に役に立っている資格： 番号 ( ) 取得時期 西暦 ( ) 年

(3) 上記の資格を取得するための費用 (大学・各種学校の学費等を含む) は、どのようにまかさないましたか。複数の資格を持っている場合は、最も「今の仕事に役立っている」資格についてお答えください。(○はいくつでも)

1 自分や家族の貯金や収入	5 高等技能訓練促進費／高等職業訓練促進給付金
2 親や親族の援助	6 自立支援教育訓練給付金
3 借り入れたお金	7 母子福祉資金貸付金
4 雇用保険の教育訓練給付金	8 その他 (具体的に )

**【全員の方におたずねします。】**

**■生活と育児についておたずねします。**

問 21(1)あなたは、現在の暮らし向きについて、総合的にみてどのように感じていますか。

(2)また、今からみた5年前の状況はどのようなものでしたか。(○はそれぞれ1つずつ)

	大変苦しい	やや苦しい	普通	ややゆとりがある	大変ゆとりがある
(1)現在の暮らし向き →	1	2	3	4	5
(2)5年前の暮らし向き →	1	2	3	4	5

(3)あなたのご家庭は、次のア～エにかかわる支出をどこまで負担することが可能ですか。それぞれあてはまるものに1つだけ○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)

		余裕で 負担できる	おおむね 負担できる	負担するの は厳しい	負担でき ない
ア 毎日の新鮮な果物	→	1	2	3	4
イ 子どもの習い事（水泳、ピアノ等）	→	1	2	3	4
ウ 子どもの学習塾（月謝2～3万円程度）	→	1	2	3	4
エ 年に1回程度の家族旅行（国内）	→	1	2	3	4

問 22 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。(○は1つ)

1 よくあった      2 ときどきあった      3 まれにあった      4 まったくなかった

問 23 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類を買えないことがありましたか。(○は1つ)

1 よくあった      2 ときどきあった      3 まれにあった      4 まったくなかった

問 24(1)先月の、あなたの平均的な1日（平日）の睡眠時間はどのくらいでしたか。

1日  時間  分くらい

(2)先月のあなたが、炊事、洗濯と掃除をこなす家事時間は、1日あたり何時間程度でしたか。  
平日を想定してお答えください。全くやっていない場合は、「0」と記入してください。

1日  時間  分くらい

■お子さんのことについておたずねします。

問 25(1)お子さんは全部で何人ですか。

同居していないお子さんや、養子、配偶者の連れ子を含んだ人数をお答えください。

全部で  人

(2)あなたにとって理想な子ども数は何人ですか。

人

(3)あなたは全部で何人のお子さんを持つおつもりですか。

人

問 26 それぞれのお子さんの状況について、ア)～サ)の項目それぞれにあてはまるもの1つに○をつけてください。お子さんが5人以上いらっしゃる場合は、3人目までのお子さんとお子さんについてご記入ください。(○はそれぞれ1つずつ)

	第1子 ↓	第2子 ↓	第3子 ↓	第4子または末子 ↓
ア)性別	1 男 2 女	1 男 2 女	1 男 2 女	1 男 2 女
イ)生年月 (西暦)	[ ]年 [ ]月	[ ]年 [ ]月	[ ]年 [ ]月	[ ]年 [ ]月
ウ)実子ですか	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
エ)出生時の 体重	1 1,500g未満 2 1,500g以上	1 1,500g未満 2 1,500g以上	1 1,500g未満 2 1,500g以上	1 1,500g未満 2 1,500g以上
オ)同別居状況	1 同居 2 別居(仕送りなし) 3 別居(仕送りあり)	1 同居 2 別居(仕送りなし) 3 別居(仕送りあり)	1 同居 2 別居(仕送りなし) 3 別居(仕送りあり)	1 同居 2 別居(仕送りなし) 3 別居(仕送りあり)
カ-1)健康状態	1 良い 2 普通 3 良くない	1 良い 2 普通 3 良くない	1 良い 2 普通 3 良くない	1 良い 2 普通 3 良くない
カ-2)持病有無	1 なし 2 あり	1 なし 2 あり	1 なし 2 あり	1 なし 2 あり
カ-3)障害有無	1 なし 2 あり	1 なし 2 あり	1 なし 2 あり	1 なし 2 あり
キ)学校等教育 機関での 在籍状況	1 保育所 2 幼稚園 3 小中高校(公立) 4 小中高校(国・私立) 5 専修学校・各種学校 6 短大・高専 7 大学・大学院 8 社会人 9 その他	1 保育所 2 幼稚園 3 小中高校(公立) 4 小中高校(国・私立) 5 専修学校・各種学校 6 短大・高専 7 大学・大学院 8 社会人 9 その他	1 保育所 2 幼稚園 3 小中高校(公立) 4 小中高校(国・私立) 5 専修学校・各種学校 6 短大・高専 7 大学・大学院 8 社会人 9 その他	1 保育所 2 幼稚園 3 小中高校(公立) 4 小中高校(国・私立) 5 専修学校・各種学校 6 短大・高専 7 大学・大学院 8 社会人 9 その他
ク)習い事・ 塾代	1 出費なし 2 出費あり↓ 月額平均 [ ]万円	1 出費なし 2 出費あり↓ 月額平均 [ ]万円	1 出費なし 2 出費あり↓ 月額平均 [ ]万円	1 出費なし 2 出費あり↓ 月額平均 [ ]万円
ケ)あなたはど の段階まで学 費を出す予定 または出して いましたか	1 高校 2 専修学校・各種学校 3 短大・高専 4 大学・大学院 5 わからない	1 高校 2 専修学校・各種学校 3 短大・高専 4 大学・大学院 5 わからない	1 高校 2 専修学校・各種学校 3 短大・高専 4 大学・大学院 5 わからない	1 高校 2 専修学校・各種学校 3 短大・高専 4 大学・大学院 5 わからない
【小中高生の 場合】 コ)学校での 勉強全般	1 成績良好 2 まあまあ良好 3 普通 4 遅れている 5 かなり遅れている	1 成績良好 2 まあまあ良好 3 普通 4 遅れている 5 かなり遅れている	1 成績良好 2 まあまあ良好 3 普通 4 遅れている 5 かなり遅れている	1 成績良好 2 まあまあ良好 3 普通 4 遅れている 5 かなり遅れている
【小中高生の 場合】 カ)不登校(年間 30日以上学校を 欠席すること) の有無	1 不登校経験なし 2 不登校経験あり (現在は登校している) 3 現在不登校中 4 わからない	1 不登校経験なし 2 不登校経験あり (現在は登校している) 3 現在不登校中 4 わからない	1 不登校経験なし 2 不登校経験あり (現在は登校している) 3 現在不登校中 4 わからない	1 不登校経験なし 2 不登校経験あり (現在は登校している) 3 現在不登校中 4 わからない

問 27(1) あなたは、ふだん（平日）、1日あたり何時間程度（睡眠時間を除く）、お子さんと一緒に過ごしていますか。（○は1つ）

1 6時間以上	4 1時間以上2時間未満
2 4時間以上6時間未満	5 1時間未満
3 2時間以上4時間未満	6 ほとんどない

(2) あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。下記のア～ウについて、それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

（○はそれぞれ1つずつ）

	ほぼ毎日	週に3～4回	週1～2回	月に1～2回	めったにない
ア お子さんと将棋・トランプ等で遊ぶ →	1	2	3	4	5
イ お子さんの勉強をみる →	1	2	3	4	5
ウ お子さんと一緒に出かける →	1	2	3	4	5

問 28(1) お子さんと一緒に夕食をとる回数は、ふだん1週間にどのくらいありますか。（○は1つ）

1 ほぼ毎日	3 週2、3日程度	5 ほとんどない
2 週4、5日程度	4 週1日程度	

(2) お子さんが家事を手伝う頻度は、ふだん1週間にどのくらいありますか。お子さんが複数いる方は、年長の2人についてそれぞれ以下のあてはまる番号をお答えください。

一番上のお子さん（ ） 上から2番目のお子さん（ ）

1 ほぼ毎日	3 週2、3日程度	5 ほとんどない
2 週4、5日程度	4 週1日程度	

(3) お子さんが下の兄弟の世話を手伝う頻度は、ふだん1週間にどのくらいありますか。お子さんが複数いる方は、年長の2人についてそれぞれ以下のあてはまる番号をお答えください。

一番上のお子さん（ ） 上から2番目のお子さん（ ）

1 ほぼ毎日	3 週2、3日程度	5 ほとんどない
2 週4、5日程度	4 週1日程度	6 下の兄弟がいない

問 29 あなたのご家庭ではお子さんに対するしつけは、全般的に厳しい方だと思いますか。

（○は1つ）

1 とても厳しくしている	3 どちらともいえない	5 とても甘やかしている
2 やや厳しくしている	4 やや甘やかしている	

問 30 お子さんについて、以下のことで悩んだりしていますか。（○はいくつでも）

1 食事や栄養	4 健康	7 交友関係	10 就職
2 性格や癖	5 勉強や進学	8 非行	11 その他（具体的に ）
3 しつけ	6 いじめ	9 家庭内暴力	12 特に悩みはない

問31(1)お子さんは以下のような保育施設を利用したことがありますか。(○はいくつでも)

1 認可保育所	4 小規模保育	7 事業所内保育所	10 短期特例保育
2 認証保育所	5 保育ママ	8 幼稚園預かり保育	11 ファミリーサポート事業
3 ベビーホテル	6 認定こども園	9 病児・病後児保育	12 上記いずれも利用しなかった

【(1)で「1 認可保育所」に○をつけなかった方におたずねします。】

(2)今までに認可保育所を利用したことがない理由は何ですか。(○は3つまで)

1 必要がなかった	5 保育時間が合わなかった
2 審査基準が厳しく、申請しても無駄だと思った	6 保育所の場所が不便だった
3 他の認可外保育施設に子どもを預けていた	7 保育内容や保育者の質に満足できなかった
4 働いた場合の収入に比べて保育料が高かった	8 その他の理由(具体的に )

【全員の方におたずねします】

(3) お子さんは認可保育所の待機児童になったことがありますか。

1 はい	2 いいえ → 問32(1)へお進みください
------	------------------------

【SQ1～SQ3については、(3)で「1 はい」と答えた方におたずねします】

SQ1 直近で認可保育所の待機児童になったのは何番目のお子さんの時ですか。  
第( )子の時

SQ2 どのくらいの待機期間でしたか。( )ヶ月

SQ3 認可保育所に入れなかった時の対応はどのようにしましたか。(○はいくつでも)

1 育休を延長した	4 労働時間を短縮した	7 その他
2 勤務形態を変えた	5 仕事をやめた	
3 勤務先を変えた	6 認可外保育施設等を利用した	

【女性の方におたずねします。】(男性の方は次ページの間33へお進みください。)

■お子さんたちの父親のことについておたずねします。

問32(1) あなたは現在、子ども(たち)の父親と一緒に暮らしていますか。

なお、法律上の父親と生物学上の父親が異なる場合、生物学上の父親について回答してください。子どもたちの父親が複数いる場合、一番下のお子さんの父親について回答してください。(○は1つ)

1 はい → 次ページ(4)へ	2 いいえ
-----------------	-------

【(2)と(3)は、現在、子ども(たち)の父親と一緒に暮らしていない方におたずねします。】

(2)父親と一緒に暮らしていない理由は何ですか。(○は1つ)

1 父親が単身赴任中	3 父親と離婚
2 父親とは別居・離婚協議中	4 父親は行方不明または他界

→ 次ページ問33へ

(3)この1年間、子ども（たち）は父親とどの程度会ったり、話したりしていますか。（○は1つ）

1 ほぼ毎日	3 週に1回くらい	5 年に数回	7 まったくない
2 週に3～4回くらい	4 月に1回くらい	6 ほとんどない	

【女性の方全員におたずねします。】（男性の方は問33へお進みください。）

(4)あなたからみて、子ども（たち）の父親はどのような父親ですか。

なお、法律上の父親と生物学上の父親が異なる場合、生物学上の父親について回答してください。また、子どもたちの父親が複数いる場合、一番下のお子さんの父親について回答してください。

（○は1つ）

1 良い父親	2 まあまあ良い父親	3 普通	4 あまり良くない父親	5 悪い父親
--------	------------	------	-------------	--------

(5)子ども（たち）の父親とあなたとの関係は、総じて言えば、以下のどれにあてはまりますか。

（○は1つ）

1 良い	2 まあまあ良い	3 普通	4 あまり良くない	5 悪い
------	----------	------	-----------	------

【全員の方におたずねします。】

■配偶者とそれ以外の方からのいろいろな援助についておたずねします。

（配偶者がいらっしゃらない場合は(3)へお進みください。）

問33(1) あなたの配偶者は家事・育児を何割程度分担していますか。お二人が行っている家事・育児の総量が「10」割と想定してお答えください。全くやっていない場合、「0」を記入してください。（なお、配偶者には婚姻届を出していない内縁の方を含みます。以下同じ）

割程度 （例：あなたが7割、父親が3割の場合、「3」を記入してください）

(2)あなたの配偶者は、炊事、洗濯と掃除をこなす家事時間は、1日あたり何時間程度ですか。

全くやっていない場合、「0」と記入してください。

ア 平日の場合  時間  分 程度

イ 休日の場合  時間  分 程度

【全員の方におたずねします。】

(3)次のア～イについて、配偶者以外にあなたを援助してくれる人がいますか。（○はいくつでも）

	自分の親	配偶者の親	親以外の親族	知人・友人等	誰もいない
ア 子どもの世話・家事援助 →	1	2	3	4	5
イ 経済的援助 →	1	2	3	4	5

(4)次のア～イについて、あなたまたは配偶者の親からの援助がどのくらいの頻度で行われていますか。

（○はそれぞれ1つずつ）

	週に3、 4回以上	月に 2回 以上	月に 1回 程度	年に 数回 程度	年に 1回 程度	数年に 1回程 度	ほとんど 受けてい ない	該当す る親は いない
ア 子どもの世話・家事援助 →	1	2	3	4	5	6	7	8
イ 経済的援助 →	1	2	3	4	5	6	7	8

■就業や育児への公的支援についておたずねします。

問 34 あなたは次のア～キの支援制度を利用したことがありますか。それぞれについて、あてはまるもの1つに○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)  
また、カとキで1と2と答えられた方は「SQ 利用時期」もお答えください。

	今利用している	過去に利用したことがある	利用経験はないが、今後利用したい	利用経験はなく、今後も利用するつもりはない	制度を知らない
ア 育児休業制度 →	1	2	3	4	5
イ 子の看護休暇制度 →	1	2	3	4	5
ウ 短時間勤務制度 →	1	2	3	4	5
エ 学童保育 →	1	2	3	4	5
オ マザーズハローワーク →	1	2	3	4	5
カ 自立支援教育訓練給付金事業 →	1	2	3	4	5
キ 高等職業訓練促進給付金事業 →	1	2	3	4	5

SQ (カ) 利用時期 西暦 20 ( ) 年 ( ) 月 ~ ( ) 年 ( ) 月

SQ (キ) 利用時期 西暦 20 ( ) 年 ( ) 月 ~ ( ) 年 ( ) 月

問 35 (1)あなたが育児と就業を行う上で、国や自治体からの支援で拡充すべきだと思うものは何ですか。あなたのお考えに最も近いものを3つまでお答えください。(○は3つまで)

1 児童手当の増額
2 年少扶養控除の復活
3 乳幼児医療費助成期間の延長 ⇒ (____歳までに延長)
4 原則子どもが満1歳までとする育児休業の法定期間の延長 ⇒ (満____歳までに延長)
5 年5日※注)とする子の看護休暇の法定期間の延長 ⇒ (年____日までに延長)
6 保育所サービスの多様化(休日保育、延長保育等)
7 保育の質の向上(保育士の数を増やす、保育士の待遇改善等)
8 保育所の増設・受入児童数の増加
9 病時・病後児保育制度の充実
10 職業訓練を受ける際の金銭的援助
11 その他(具体的に _____)
12 国や自治体からの支援は十分である
13 よくわからない

※注) 子が2人以上の場合10日

(2)あなたが育児と就業を行う上で、会社からの支援で不十分だと思うものは何ですか。あなたのお考えに最も近いものを3つまでお答えください。(○は3つまで)

1 就業時間の配慮	4 事業所内の託児施設
2 保育料・ベビーシッター代の援助	5 その他の支援(具体的に _____)
3 復職へのサポート	6 会社からの支援は十分である

■収入と支出についておたずねします。

問 36 昨年のあなた自身および配偶者における就労収入は、およそいくらですか。税金・社会保険料などを差し引かれる前の残業手当、ボーナス、臨時収入、副業収入を含む総収入でお答えください。(なお、配偶者には婚姻届を出していない内縁の方を含みます。以下同じ)  
 ※自営の場合は、売上高などから必要経費を除いた金額をご記入ください。  
 収入なしの場合には、0をご記入ください。

【配偶者がいる方に】

(1)あなた 税込     万円程度 (2)配偶者の方 税込     万円程度

問 37(1) あなたの世帯 (あなた自身及び生計をともにしている家族) の昨年1年間の税込み収入の総額は、いくらくらいですか。

税込み (年額)     万円程度 ←

※税金・社会保険料などを差し引かれる前の社会保障給付、贈与、財産収入等を含む総収入 (除く遺産)

(2)上記(1)でご回答いただいた世帯収入から、税金(所得税、住民税、固定資産税)と社会保険料を引いた後の手取り収入(年額)は、いくらくらいですか。

手取り (年額)     万円程度

(3)上記(1)でご回答いただいた世帯収入は、どこから得たものですか。(○はいくつでも)

※養育費をうけている場合には、その金額をご記入ください。児童扶養手当を受けていた場合には、「全部支給」かどうかについてお答えください。

(4)下記収入のうち、あなたの世帯にとって最も主要なものの番号に○をつけてください。

(○は1つ)

	(3)世帯の収入源 (○はいくつでも) ↓	(4)最も主要な 収入源 (○は1つ) ↓
あなたの就業収入	1	1
配偶者の就業収入	2	2
その他の世帯員の就業収入	3	3
公的年金・恩給	4	4
失業給付	5	5
元夫(妻)からの養育費(月額_____円)	6	6
親からの援助	7	7
児童手当	8	8
児童扶養手当→(全部支給ですか。1 はい 2 いいえ)	9	9
特別児童扶養手当	10	10
生活保護	11	11
財産収入(利子・配当・家賃収入など)	12	12
その他(具体的に_____)	13	13

(5)上記の収入源のうち、社会保障給付(太字の部分)の総額は、いくらくらいですか。

年額     万円程度



問 38(1) あなたの世帯（あなた自身および生計をともにしている家族）の先月1カ月の家計費は総額でどのくらいでしたか。

1 カ月あたり 

--	--

 万円程度

※家計費には次のものを含まます。

食費、被服費、光熱・水道費、住居費（但し住宅購入費、住宅改修費、住宅ローンの返済を除く）、耐久消費財購入費、交通・通信費、保育料・教育費、教養娯楽・交際費、保健・医療費、保険料

(2) そのうち、子どものための支出は、何に使われていますか。（○はいくつでも）

(3) 子どものための支出の中で、最も大きな出費はどれですか。（○は1つ）

	(2) 子どものための支出 (○はいくつでも) ↓	(3) 最も大きな支出 (○は1つ) ↓
食費	1	1
被服費	2	2
小中高等学校や大学の学費	3	3
保育料・幼稚園月謝	4	4
習い事・塾代	5	5
医療費	6	6
娯楽費	7	7
その他（具体的に )	8	8

(4) 子どものための支出の合計額はどのくらいですか。

1 カ月あたり 

--	--

 万 

--

 千円程度（すべてのお子さんの合計値）

(5) そのうち、0～6歳のお子さんの保育費（保育料・幼稚園月謝を含む）は、どのくらいですか。

複数のお子さんが保育園・幼稚園に通っている場合、一番下のお子さんについてお答えください。

※ご自分で保育し、お子さんが保育所や幼稚園に入園していない場合、0円と記入してください。

1 カ月あたり 

--	--

 万 

--

 千円程度

問 39 あなたと配偶者は、雇用保険や公的年金に加入していますか。次のア～ウについてそれぞれ1つだけ○をつけてください。（○はそれぞれ1つずつ）

	(1) あなた ↓	〔配偶者がいる方に〕 (2) 配偶者の方 ↓
ア 雇用保険	1 加入している 2 加入していない	1 加入している 2 加入していない
イ 公的年金	1 厚生年金・共済年金に加入 2 国民年金に加入（自営業等第1号） 3 国民年金に加入（専業主婦等第3号） 4 国民年金保険料未納・未加入	1 厚生年金・共済年金に加入 2 国民年金に加入（自営業等第1号） 3 国民年金に加入（専業主婦等第3号） 4 国民年金保険料未納・未加入
ウ 公的医療保険	1 共済組合、健康保険組合保険に加入 2 政府掌管健康組合保険（協会けんぽ）に加入 3 国民基本健康保険、高齢者医療保険に加入 4 医療保険料未納・未加入	1 共済組合、健康保険組合保険に加入 2 政府掌管健康組合保険（協会けんぽ）に加入 3 国民基本健康保険、高齢者医療保険に加入 4 医療保険料未納・未加入

■収支バランスと家計管理についておたずねします。

問 40(1)あなたのご家庭では、貯蓄をしていますか。(○は1つ)

※住宅ローンの繰り上げ返済も貯蓄とみなします。

1 ほぼ毎月貯蓄している	3 ほとんど貯蓄していない	5 貯蓄を生活費に回している
2 ときどき貯蓄している	4 全く貯蓄していない	

(2)あなたのご家庭では、現在、月々の家計をどのように管理していますか。(○は1つ)

1 妻が管理	4 予算を決めず、夫婦どちらとも管理しない
2 夫が管理	5 その他(具体的に )
3 夫婦ふたりで管理	

■家族や生活についてのお考えをおたずねします。

問 41(1)家族や子どもに関する次のア～ウのような考え方について、あなたはどのように思いますか。

それぞれにあてはまるもの1つに○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)

		賛成	まあ賛成	やや反対	反対
ア 母親の就業は、未就学の子どもに良くない影響を与える	→	1	2	3	4
イ 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	→	1	2	3	4
ウ 女性(母親)は子どもを出産後も仕事を続けるべきだ	→	1	2	3	4

(2)あなたは、子を持つ母親の働き方として、どれが望ましいと思いますか。次のア～ケの子どもの年齢ごとに、望ましいと思うものに○をつけてください。

また、現在の実際の働き方と、最も近いのはどちらですか。

※女性の方はご自身について、男性の方はお子さんの母親についてお答えください。

(○はそれぞれ1つずつ)

子どもの年齢		フル勤務(残業可)	フル勤務(残業不可)	短時間勤務	在宅勤務(部分在宅を含む)	育児休業	子育てに専念
子どもの年齢別望ましい母親の働き方	ア 1歳まで →	1	2	3	4	5	6
	イ 1歳半まで →	1	2	3	4	5	6
	ウ 3歳まで →	1	2	3	4	5	6
	エ 小学校就学前まで →	1	2	3	4	5	6
	オ 小学校3年生まで →	1	2	3	4	5	6
	カ 小学校卒業まで →	1	2	3	4	5	6
	キ 中学校卒業まで →	1	2	3	4	5	6
	ク 高校卒業まで →	1	2	3	4	5	6
	ケ 短大・大学以上 →	1	2	3	4	5	6
母親の現在の働き方 →		1	2	3	4	5	6

(3)この1年を振り返って、あなたは幸せでしたか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。0から10の数字を1つだけ選んでください。

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

とても不幸 ←—————→ とても幸せ

■あなたとご家族についておたずねします。

問 42(1)あなたのご家庭（生計をともにしている人々）は、あなたも含めて何人ですか。

--	--

人

(2) 現在、一緒に住んでいる方は、次のどなたですか。（○はいくつでも）

(3) そのうち、生計を別にしている同居者はいらっしゃるでしょうか。（○はいくつでも）

あなたからみた関係 ↓	(2)一緒に住んでいる方 (○はいくつでも) ↓	(3)そのうち生計を別に している方 (○はいくつでも) ↓
配偶者（法律婚）	1	1
配偶者（事実婚・内縁関係の相手）	2	2
未婚の子ども	3	3
既婚の子ども	4	4
孫	5	5
あなたの親	6	6
配偶者の親	7	7
きょうだい・親族	8	8
友人・知人	9	9
その他（具体的 ）	10	10
		11 別生計の同居者はいない

**【配偶者のいる方におたずねします。】 配偶者のいない方は次頁の問 43(1)へ**

(4)-1 あなたの配偶者の方は、現在、収入をとまなう仕事をしていらっしゃいますか。（○は1つ）

1 している	2 していない（求職中）	} → 問 43(1)へ
	3 していない（求職活動もしていない）	

(4)-2 配偶者の方は、現在のお仕事の形態は、次のどれにあたりますか。複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事1つだけについてお答えください。（○は1つ）

1 正社員・正規職員	6 自営業
2 嘱託・契約社員	7 自営業の手伝い
3 派遣社員	8 個人業務請負
4 パート・アルバイト	9 内職
5 日雇い	10 その他（具体的に ）

(4)-3 配偶者の方のお仕事の性質はどのようなものですか。

（○はいくつでも）

1 対外的な折衝をする仕事（渉外、バイヤー、法人営業など）
2 顧客のもとに出向いて行う仕事（外回りの営業、顧客先での常駐、集金・集荷など）
3 他人の仕事を補助する仕事（秘書、助手、補佐など）
4 職業資格を必要とする仕事
5 会社の事業を立案する仕事
6 スタッフを管理する仕事
7 いずれもあてはまらない

(4)-4 配偶者の方の勤務先の従業員（パート・アルバイトなどを含む）は、会社全体で何人くらいですか。（派遣社員の方は、実際に働いていた会社の企業規模をお答えください。）（○は1つ）

1 1人	4 10～30人未満	7 300～500人未満	10 官公庁
2 2～5人未満	5 30～100人未満	8 500～1,000人未満	11 わからない
3 5～10人未満	6 100～300人未満	9 1,000人以上	

(4)-5 配偶者の方は、現在のお仕事の1週間あたりの平均就業時間は、何時間ですか。残業時間を含めてお答えください。

1週間あたり 

--	--	--

 時間

(4)-6 配偶者の方の就業時間は、規則的ですか。（○は1つ）

1 規則的	2 おおむね規則的	3 おおむね不規則	4 不規則
-------	-----------	-----------	-------

(4)-7 あなたが配偶者の方の転勤のために、転居をしたことがありますか。（○は1つ）

1 なし	2 あり（国内転勤のみ）	3 あり（海外転勤を含む）
------	--------------	---------------

**【全員の方におたずねします。】**

問 43(1) 現在の住居の種類は以下のどれにあたりますか。（○は1つ）

1 あなた、または配偶者の持ち家	5 民間賃貸住宅
2 親の持ち家	6 社宅・寮などの給与住宅
3 親以外の親族の持ち家	7 母子生活支援施設等の社会福祉施設
4 公営賃貸住宅	8 その他（具体的に

(2) 住宅ローンの返済はありますか。（○は1つ）

1 あり→ 先月1カ月返済額 [            ] 万円	2 なし
----------------------------------	------

問 44(1) 現在、あなたのお母様は、あなたと一緒に住まいですか。

(2) 配偶者のいる方は、配偶者のお母様についてもお答えください。（○はそれぞれ1つずつ）

(1) あなた自身の母親 ↓	〔配偶者がいる方に〕 (2) 配偶者の母親 ↓
1 あなたと同居中	1 あなたと同居中
2 別居中（同じ敷地内）	2 別居中（同じ敷地内）
3 別居中（徒歩圏内）	3 別居中（徒歩圏内）
4 別居中（片道1時間未満の距離）	4 別居中（片道1時間未満の距離）
5 別居中（片道1時間以上の距離）	5 別居中（片道1時間以上の距離）
6 あてはまる母親はいない	6 あてはまる母親はいない

問 45 あなたと配偶者（現在配偶者がいない場合には元配偶者について）、そしてご両親が最後に卒業された学校はどちらですか。（○はそれぞれ1つずつ）

ア あなた ↓	イ 配偶者 ↓	ウ あなたの母親 ↓	エ あなたの父親 ↓
1 中学校	1 中学校	1 中学校	1 中学校
2 高等学校	2 高等学校	2 高等学校	2 高等学校
3 専修学校・各種学校	3 専修学校・各種学校	3 専修学校・各種学校	3 専修学校・各種学校
4 短大・高等専門学校	4 短大・高等専門学校	4 短大・高等専門学校	4 短大・高等専門学校
5 大学・大学院	5 大学・大学院	5 大学・大学院	5 大学・大学院
6 その他	6 その他	6 その他	6 その他

問 46 あなたが次のア～ウの年齢だった頃、お母様は働いていらっしゃいましたか。それぞれあてはまるものに1つだけ○をつけてください。（○はそれぞれ1つずつ）

	無職	パートタイム 就業	フルタイム 就業	わからない
ア あなたが3歳だった頃 →	1	2	3	4
イ あなたが6歳だった頃 →	1	2	3	4
ウ あなたが12歳だった頃 →	1	2	3	4

問 47(1)あなたは、今まで結婚した経験がありますか。（○は1つ）

1 あり →	初めて結婚したのは、西暦 [            ] 年 [            ] 月
2 なし →	次ページの間 49 へお進みください

(2)結婚した経験がある場合には、初婚相手との現在の状況は次のどれにあてはまりますか。

(○は1つ)

1 現在も婚姻継続中	→ 次ページの間 50 へお進みください
2 別居・離婚調停中	} → 離別・死別の時期はいつでしたか。 西暦 [            ] 年 [            ] 月
3 離別	
4 死別	

【離別・死別経験のある方におたずねします。】

問 48(1)あなたが離別・死別された時、その相手の方の税込年収はどのくらいありましたか。複数回の離別・死別を経験されている場合は、直近の結婚相手の方についてお答えください。（○は1つ）

1 収入なし	5 300万円台	9 700万円台
2 100万円未満	6 400万円台	10 800万円以上
3 100万円台	7 500万円台	11 わからない
4 200万円台	8 600万円台	

(2)また、その後、あなたは再婚しましたか。再婚経験のある方は、直近の結婚の時期をお答えください。（○は1つ）

1 あり →	直近の結婚は西暦 [            ] 年から	2 なし
--------	-----------------------------	------

## 【現在、法律上の結婚をしていない方におたずねします。】

(法律上の結婚をしている方は問 50 へお進みください。)

問 49 (1) 今後の結婚の予定についてどのようにお考えですか。(○は1つ)

- |   |                  |   |            |
|---|------------------|---|------------|
| 1 | すでに結婚する予定の相手がいる  | 4 | その他(具体的に ) |
| 2 | 結婚しない予定のパートナーがいる |   |            |
| 3 | 結婚の予定はない         |   |            |

(2) 結婚の予定がない最大の理由は何ですか。(○は1つ)

- |   |          |   |                 |
|---|----------|---|-----------------|
| 1 | 良い相手がいない | 4 | 子どものことを考えて      |
| 2 | 仕事が忙しい   | 5 | 結婚したくない(独身主義者等) |
| 3 | 経済力がない   | 6 | その他(具体的に )      |

## 【全員の方におたずねします。】

## ■あなたの健康状態についておたずねします。

問 50 現在の、あなたの健康状態にあてはまるものに1つだけ○をつけてください。(○は1つ)

- |   |    |   |        |   |    |   |         |   |      |
|---|----|---|--------|---|----|---|---------|---|------|
| 1 | よい | 2 | まあまあよい | 3 | 普通 | 4 | あまりよくない | 5 | よくない |
|---|----|---|--------|---|----|---|---------|---|------|

問 51 最近の1週間で、以下のようなことは何日くらいありましたか。次のア～コのそれぞれについて、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)

	ほとんどない	1～2日	3～4日	5日以上
ア 普段は何でもないことで悩む →	1	2	3	4
イ 物事に集中できない →	1	2	3	4
ウ 落ち込んでいる →	1	2	3	4
エ 何をするのも面倒だ →	1	2	3	4
オ 将来に対して希望を持てる →	1	2	3	4
カ 怖いと感じる →	1	2	3	4
キ なかなか眠れない →	1	2	3	4
ク 生活を楽しんでいる →	1	2	3	4
ケ 寂しいと感じる →	1	2	3	4
コ 何をするにも、なかなかやる気が起こらない →	1	2	3	4

問 52 あなたは、過去3カ月の間に、病気に関する次のような経験がありますか。

(○はいくつでも)

- |   |                    |   |                       |
|---|--------------------|---|-----------------------|
| 1 | 入院していた             | 5 | 風邪などの軽病を治すために市販薬を購入した |
| 2 | 持病で通院していた          | 6 | 持病のために市販薬を購入した        |
| 3 | 風邪などの軽病で通院していた     | 7 | 病気だったのに通院も薬治療もしなかった   |
| 4 | あなたの病気が原因で仕事を休んでいた | 8 | 上記のいずれも経験していない        |

問 53 あなたが、過去 1 年間に受けた健康診断は下記のどれですか。

(○はいくつでも)

1 定期健康診断（除く人間ドック）	3 胃がん検診	5 その他のがん検診
2 人間ドック	4 乳がん・子宮がん検診	6 上記いずれも受けていない

問 54(1)あなたは成人する前に下記のような体験をしたことがありますか。

(○はいくつでも)

1 両親が離婚した	5 親から暴力を振るわれたことがある
2 親が生活保護を受けていた	6 親に育児放棄されたことがある
3 母親が亡くなった	7 自殺を考えたことがある
4 父親が亡くなった	8 上記いずれも経験したことがない

(2)あなたは成人後に生活や子育てをめぐって、下記のような体験をしたことがありますか。

(○はいくつでも)

1 (元)配偶者から暴力をふるわれたことがある	5 出産や育児でうつ病になった時期がある
2 やむをえず生活保護を受けたことがある	6 わが子を虐待しているのではないかと 思い悩んだことがある
3 子どもに行き過ぎた体罰を与えたことがある	7 自殺を考えたことがある
4 育児放棄になった時期がある	8 上記いずれも経験したことがない

問 55 あなたが今育児や仕事を続けていく上で困っていることや、行政、企業、社会に期待したい支援などを教えてください。

長時間にわたり、ご協力いただき、どうもありがとうございました。

この調査の結果は、まとめ次第、弊機構のホームページ  
(<http://www.jil.go.jp>) にて公表します。

---

JILPT 調査シリーズ No.192

子どものいる世帯の生活状況および保護者の就業に関する調査 2018  
(第5回子育て世帯全国調査)

発行年月日 2019年10月17日

編集・発行 独立行政法人 労働政策研究・研修機構

〒177-8502 東京都練馬区上石神井4-8-23

(照会先) 研究調整部研究調整課 TEL 03-5991-5104

印刷・製本 有限会社 太平印刷

---

©2019 JILPT Printed in Japan

\* 調査シリーズ全文はホームページで提供しております。(URL:<https://www.jil.go.jp/>)